

八王子医療刑務所移転後用地活用計画(素案)についての パブリックコメント実施結果

大変多くの方からご意見をいただきました。ありがとうございました。

パブリックコメントの実施結果は、次のとおりです。

ご意見を踏まえた検討を行った結果、本計画の基本となる部分の変更や大幅な内容変更はありませんでしたが、ご意見を参考に、一部文章や文言の追記等を行いました。また、導入施設の具体化に向けた施設の内容や運営等に関するご意見については、今後の計画の具体化に向けた検討の参考といたします。

1. パブリックコメント手続きの概要

(1) 実施概要

- ・ 実施期間：平成 27 年 12 月 1 日（火） から 平成 28 年 1 月 4 日（月） （35 日間）
- ・ 周知方法：広報はちおうじ（平成 27 年 12 月 1 日号）、市ホームページ・Facebook・Twitter
- ・ 資料配付：市役所（都市総務課、市政資料室）、各事務所・市民センター・図書館、郷土資料館、市のホームページ
- ・ 提出方法：直接、郵送、ファックス、Eメール

(2) 素案説明会

- ・ 平成 27 年 12 月 10 日（木）午後 7 時～午後 9 時（子安市民センター） 参加者 42 名
- ・ 平成 27 年 12 月 15 日（火）午前 10 時～午前 12 時（生涯学習センター） 参加者 40 名
- ・ 平成 27 年 12 月 19 日（土）午後 2 時～午後 3 時 50 分（市役所本庁舎） 参加者 26 名

2. 意見の概要

(1) 意見の提出状況

- ・ 提出者数：141 名（法人等を含む）
- ・ 意見数：302 件

(2) 意見の分類

活用計画(素案)の全体に関すること	9 件
活用計画(素案)の各項目に関すること	275 件
活用の考え方（活用の方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）	56 件
導入施設	183 件
みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリ	97 件
その他の施設（多目的室、福祉関連施設、宿泊関連施設 等）	86 件
今後の進め方	36 件
検討課題	9 件
留意点（アクセス、周辺住環境、施設設計等）	27 件
その他	18 件
合計	302 件

※意見分類の考え方…意見についてはその主旨に沿って要約した上で、活用計画(素案)の項目にあわせて分類しました。このため、要旨には、他の分類項目の内容が含まれている場合があります。

(3) 意見の概要

- ・ 活用計画(素案) (以下、「素案」という。) に賛同・期待する意見のほか、素案で示した「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」の具体化に向けた施設内容や運営等の意見・要望が多くありました。このほか、導入して欲しい施設や今後の進め方等についての様々な提案がありました。

ア. 活用計画(素案)の全体に関すること

- ・ 素案全体について、賛同するものや素案の実現を期待する意見がありました。

イ. 活用計画(素案)の各項目に関すること

(ア) 活用の考え方

- ・ 「将来イメージ」については抽象的である旨の意見もありましたが、「共感する」、「妥当である」等、概ねが賛同する意見でした。
- ・ 「活用の主体」について、民間に全て任せることを心配する意見もありましたが、施設の整備や運営において、市民や企業等の民間主体との連携が必要である旨の意見が多くありました。
- ・ 「導入施設のあり方」について、施設運営等のソフト面が重要である、本用地の活用により回遊性や周辺地域への波及効果の向上につなげる必要がある旨の意見がありました。

(イ) 導入施設

- ・ 「みんなの公園」について、防災性向上・健康づくり・自然との触れ合い等の観点から、コンセプトや機能・設備等の整備内容等の提案が多くありました。
- ・ 「歴史・郷土ミュージアム」について、現在の郷土資料館の老朽化・機能充実・アクセス向上等の観点から、本用地への導入(機能移転)を望む意見が多くありました。また、展示物・展示方法・講座等の施設内容・運営等の提案もありました。
- ・ 「憩いライブラリ」について、図書館の増設・機能充実等の観点から図書館の導入を求める意見のほか、学び・集い・居心地良さ等のコンセプトやそのための機能・設備等の整備内容等の提案がありました。
- ・ 素案に示した上記以外の導入施設に関する意見としては、市民の交流・集い・文化振興に資する多目的室・ホール、高齢者・障害者・子育て等の住民福祉に資する施設、産業振興・観光振興に資する宿泊施設・企業誘致等のほか、大規模・広域集客に資するスポーツ競技場、市民スポーツ、環境、教育、平和に関する施設等々、多様な観点から様々な具体的施設の提案がありました。

(ウ) 今後の進め方

- ・ 「検討課題」について、活用する区域や施設の配置等の提案がありました。
- ・ 「留意点」について、本用地へのアクセスが重要、周辺住環境への配慮が必要、施設デザインが重要である等の意見がありました。

ウ. その他

- ・ 既存施設・樹木等の活用、今後の情報提供・市民参加等に関する意見がありました。

3. 意見の要旨と市の考え方

< 掲載ページ >

■素案全体	4
■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）	5
■導入施設	13
▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）、憩いライブラリ（図書館）について.....	13
▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について	14
▼みんなの公園・憩いライブラリ（図書館）について	18
▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）・憩いライブラリ（図書館）について	18
▼みんなの公園について	19
▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について	23
▼憩いライブラリ（図書館）について	28
▼その他の施設について	29
■今後の進め方.....	43
▼検討課題	43
▼留意点（アクセス、周辺住環境、施設設計等）	44
■その他	47

■素案全体

番号	意見の要旨	市の考え方
1	素案に賛成する。	素案にご理解頂きありがとうございます。パブリックコメントを踏まえて策定した活用計画を実現できるよう、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
2	素案に賛成。八王子は緑と自然が残り、定住希望者が多い。豊かな歴史と文化、伝統への理解が深まれば、八王子への愛着が深まり、定住希望者が増える。誰もが、特に子や孫が住みたくなる、魅力ある八王子を発信する拠点として、本用地が活用されるのは大賛成。ぜひ実現させて欲しい。	
3	新たな集いの拠点を目指した素案概要について、計画の位置付け、活用方針、活用の主体、施設コンセプト等々どれも素晴らしいアイデアである。是非実現を強く希望したい。	
4	素案は良いと思う。100年後を見据える事は大事である。このような良い時期、良い場所は、発展と利益を生む大きなチャンス。主体的に総動員で考える事が、将来の子孫につながる。練ることが必要と思う。	
5	素案の骨格については基本的に賛成。内容を具体化、実現する上では、内容とプログラムについて市民の支持が重要で、具体化の手順や段階も理解できるようにする必要がある。	
6	素案では、何となくホッとできる空間、緑がいっぱいで、まちの皆さんと交流できる空間となっており安心した。ぜひ今計画しているような案が実現するようお願いする。	
7	素案は、市民が未来に繋がる活用を検討していると感じた。本用地の目的は、多様な人の交流が第一で、年代、性別、国籍、支援が必要かどうか、などを越えて市民が集い、お互いを理解し合う場所になれば素敵だと思う。	
8	"新たな集いの拠点を目指して"の素案は、中核市八王子での活気ある指向と考える。	
9	八王子駅南口周辺地域は、駅前を除き、長い間、開発が進まなかった中で、医療刑務所移転後跡地をまちづくりの核として、その活用を図る方針を固められたことに感謝を申し上げたい。	

■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）

番号	意見の要旨	市の考え方
1	八王子市はあきる野市や上野原市など周辺自治体を含んだ都市圏の中核都市なので、市内のみでなく都市圏内を想定した計画が必要になる。	本用地は地域の活力・魅力の創出に向けた活用を図る方針としており、定住人口の維持を見据えて「QOLが高まる」「第三の居場所を提供する」ことを目指していく考えです。都市圏を見据えた検討の重要性も認識おりますので、ご意見も参考に、今後の検討に取り組む考えです。
2	八王子は歴史があるが、歴史や文化を大事にする姿勢が感じられず、残念。市街地開発も面ではなく点ばかりで、開発や施設が活かされず、近隣市より遅れをとっている。本用地の開発にあたり、「八王子」にこだわった利用で、南口地域開発と繋げて広域的な街づくりを考えて欲しい。	本計画の将来イメージや施設コンセプトは、歴史・文化をはじめとする地域資源の活用を強く意識しており、また、導入施設の具体化にあわせて回遊性の向上も検討することとしていますので、ご意見も参考に、地域資源に触れられること、事業全般で将来イメージ実現を意識することに留意して検討に取り組む考えです。
3	本用地については北口「産業交流プラザ」とのすみ分けが重要。北口はビジネスマン・高齢者の利用を主とし、南口は若者・学生・生徒・児童をターゲットにすれば、すみ分けができる。	本用地の活用検討に関連する上位計画である「八王子駅南口周辺地区まちづくり方針」では、商業・業務系の八王子駅北口とは異なる南口の特性を活かした個性的なにぎわいと文化を感じるまちづくりを目指すこととしていますので、ご意見も参考に、同方針の実現に向けた本用地の活用について、検討に取り組む考えです。
4	八王子駅の北側は商業地、南側は生活区域という区別をし、南口の人口も増えたので、子育てしやすい地域、市になって欲しい。	なお、1(2)関連する上位計画における本用地の方向性等に、同方針における八王子駅南口周辺地区のまちの将来像を追記しました。
5	"子育てNO1"、"読書のまち八王子"をかかげ、学園都市でもある八王子。八王子駅周辺は知性を感じるまちづくりをお願いする。	
6	矯正施設であったことから、商業施設ではなく、公共性の高い施設を計画してはどうか。例えば古くなった保健所の建替えと駐車場などを整備し、保健所の移転後用地を商業施設として活用すれば、八王子駅北口周辺の利用客が増え、市の税収増加につながる。市民、企業、行政にとって良いと思う。	本用地の活用については、公共的視点での活用を前提とすることとしていますので、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。なお、保健所の本用地への導入は考えておりません。
7	行政の箱物や安易でありふれた商業施設が来ても、もはや何の魅力もないように感じる。今回の計画は、市民のライフスタイルの改革として進めてもらいたい。	本用地の活用にあたっては、定住人口の維持を見据え、「QOLが高まること」、「第三の居場所を提供すること」を目指していますので、ご意見も参考に、将来にわたって幅広い市民に利用される場を目指し、検討に取り組む考えです。
8	地域住民、八王子市民の利益が第一とされる計画にして欲しい。	
9	立川や町田と張り合いたがる方が多いように感じるが、八王子は地盤強固なベッドタウンとして位置づけて、家族層を大事にしていくのがよいと思う。医療刑務所跡地も、近隣の家族によるこばれる施設となれば、住民も増え、南口の活性化につながると考える。	

■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）

番号	意見の要旨	市の考え方
10	次の100年をつくる まちに開いた 新たなつどいの拠点とする将来イメージ、そして3つの施設コンセプトについて基本的に賛成する。市民にとっては住んでいてよかったと思えるような、市外の方には訪れてみたいと思えるような、新たな集いの拠点となり、中核市八王子の一つの顔として、八王子らしさを醸し出す公共空間としての整備を期待する。	
11	将来イメージについては「案」に異論はない。	将来イメージにご理解頂きありがとうございます。将来イメージを実現できるよう、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
12	「新たな集いの拠点」というイメージには共感する。	
13	八王子ゆめおり市民会議2011に参加し、「八王子歴史博物館の創設」を検討した者として、素案の「将来イメージ」は総体として妥当な方向性と判断する。特に、「歴史と未来をつなぐ結節点」として「地域の未来を考える視点・きっかけを提供する」という考え方は、「歴史・郷土ミュージアム」のミッションに相当する要素であり、共感する。	
14	活用の考え方は地域での積極的な意見集約もあり、方向性として妥当なものと思う。「まちに開いた新たな集いの拠点」「アクセス性や回遊性の向上」についてはより積極的に取り組んでほしいと思う。	
15	まちに開いた新たな集いの拠点、第3の居場所としているが、イメージがわからない。文化都市八王子、弱者にやさしい八王子、高齢者・子ども・障害者が差別なく暮らしていける空間を、これからのまちづくりに求めている。	将来イメージは本用地の活用により実現したいイメージを表したもので、様々な観点を包括したため抽象的な部分もあろうかと思いますが、施設コンセプトの1つを「誰でも気軽に立ち寄れる居場所空間」としており、高齢者・子ども・障害者の観点も踏まえた検討を行っておりますので、ご意見も参考に、引き続き、重要な観心の1つとして、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
16	これからの超高齢社会での高齢者の参加施策があまり含まれていないと思う。足腰が弱くなり歩けない高齢者が多くなる中、高齢者の居場所としての場や交通機関も同時に考えた案が必要である。悩みを抱えた人や低所得者の人が癒しをもらえる場、気がねなく立ち寄れる仕組みが必要である。	
17	環境・歴史・郷土ビジネスの資源が八王子には多くある。大切に活用し、先人たちの残してくれた文化が次の100年も魅力をもって輝いているような知恵が必要だと思う。	

■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）

番号	意見の要旨	市の考え方
18	八王子で日本、あるいは海外を学ぶ場としても機能させ、まちの国際化を図る。外国人にとって、高尾山に上って八王子で学んでいく、という流れはとくに良いと想定できる。	本用地の活用では「地域資源に触れることで、まちの魅力を再発見する」や「地域ブランドの発信・継承の拠点となる」を目指していますので、ご意見も参考に、幅広い来訪者に本市の地域資源や魅力に触れていただけるよう、検討に取り組む考えです。
19	後世の人たちが良いものを残してくれたと評価される物は何なのか、将来を十分に想像して考えて欲しい。八王子市は山に囲まれ、町に囲まれた他都市と比べる商業競争には不向きであり、今ある緑の環境を進めることが他都市との差別化であり、誇れる町遺産につながると確信する。	本用地の活用については、次の100年を見据えた将来イメージを設定し、導入施設のあり方として、地域資源を活かし、時間とともに魅力が高まる方法を検討することとしていますので、ご意見も参考に、将来にわたって幅広い市民の皆さまに利用していただけるよう、検討に取り組む考えです。
20	活力・魅力を創出するためには、素案にあるとおり、地域資源や民間資源との連携は非常に重要。民間の提案や協働を大切にし、収入も得られる構造を確保する。	活用計画では、地域資源・民間資源との連携が重要であることを位置づけており、様々な民間主体との協働が重要な場面があると考えています。活用計画の実現に向けて、ご意見も参考に、財政負担軽減や提供サービスの充実等に向け、様々な民間主体の事業参画等の視点を含めた調査・研究に取り組む考えです。なお、ご意見を踏まえ、「民間主体」としていた表現を「市民・企業・大学等」と具体的に明記しました。
21	「今のままで何も困っていない。」という八王子市全体が共有している「将来に対する危機感の欠如」が問題。多額のお金をかけて、声の大きいシニアに寄り添った計画を進める事は容認できない。「民間の論理的な思考プロセス」を導入し、投下した資本を回収する前提で計画を見つめ直す必要がある。この計画は、八王子駅南口の問題ではなく、八王子市全体もしくは多摩エリア全体の問題で、中核市、多摩のリーディング自治体として、発想力と実行力を示す絶好のチャンスであり、八王子の底力を発揮しましょう。	
22	行財政は逼迫する一方なので、いかに税金投入を少なくして公共施設をつくるのかということ を重視し、官民一体開発方式を検討すべき。	
23	民間資金を活用するとともに、サードプレイスとして市民のニーズを満たすサービスを提供できるのはマーケット感覚のある民間企業という観点から、民間主導の公民連携を図ることが不可欠である。	
24	魅力あふれる街にするために民間能力の活用をして、まちなか再生、新しい町の再構築の拠点として活用してはどうか。居住機能、都市機能が住みやすい町となるよう、市民の集う施設の隣に利便性のある商業施設を考え、近隣他市に負けない八王子のプロモーションを期待する。	

■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）

番号	意見の要旨	市の考え方
	活気ある人々の集う、魅力あふれる街にして欲しい。	
25	民間企業に信託すれば財政効率が良いと思う。また、一度に工事を行わなくても予算が余裕出てから工事を行い市の財政がわかるようにするのも良いと思う。市民の要求を利用して借金を増やすのはやめるべき。大災害が来たときのこととも考えるべき。	
26	八王子の魅力を活用する対象をどこにするかが重要で、効果・効率の大きさに影響する。目的によっては、民間ノウハウの活用も検討すべき。他市にないものがあるという発信が重要で、市内・市外・都内・海外に向け情報発信し、自分が生まれ育ったふるさとを盛りたてたい。	
27	民間企業を取り入れた施設にして欲しい。理由としては、中央図書館を全面的に移転し、運営は民間企業に委託して、本の貸出し、コーヒーショップ、CD・DVDの貸出し、物販施設、ミニライブのできる施設の併設を希望する。集客力ある美術作品を中心に定期的に展示出来る美術館を希望する。八王子駅周辺は映画館が無いので映画館を設置して欲しい。市外の方に八王子市の歴史や文化等を知って頂くため、ぜひ郷土資料館を設置して欲しい。また、市に関する全ての資料や書籍類の物販の売店を設置して欲しい。市外からの集客のため、自動車運転免許やパスポートの申請更新センターを設置して欲しい。災害、商工業、医療福祉、観光等の情報を発信するため、コミュニティFMラジオ局が必要。集客力を高めるため、四季折々の植物が楽しめる公園を設置して欲しい。敷地内にレストラン等の飲食店を設置して欲しい。今人気のクライミング等、アウトドア施設を設置して欲しい。八王子駅南口からこの施設まではちバスの様なバスの運行を希望する。身体障害者も安心して利用出来る様に完全にバリアフリーにして欲しい。ゆるキャラ大会、フードフェスティバル、音楽イベント等の各種イベントが楽しめる野外施設を設置して欲しい。	
28	宿舍用地は、低層部分を市の施設、上層部分を一般の民間住宅にし、建設費を捻出するなどの手法を検討すべきである。	
29	市民、民間の知恵、活力を生かしたにぎわいの	

■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）

番号	意見の要旨	市の考え方
	ある空間を目指すべきであり、全体を大胆にコーディネートできる有能な専門家が必要である。また、専門家の選定も含めて、市民がどのように計画に参加できるか、その方法を探るべきである。	
30	「地域の活力・魅力の創生に向けた活用」の実現のため、多世代にわたる人々が集まる仕掛けづくりとして、圧倒的な特徴と魅力を備えた「来場者視点」での計画が必要と考える。産官学＋市民との協働で全国から着目される成功モデルになると良い。	
31	「とびきり居心地の良い場所」であればあるほど、年代・性別・国籍等を越えた皆さんの居場所をはじめから用意して欲しい。すべてを市が準備する必要はなく、やりたい方は民間に沢山いらっしやるので、準備段階から考え方等を共有して完成させることが、本当の官民協働になると思う。	
32	公園への市民の愛着を定着させるため、ベンチなどに記名する代わりに寄付を募ったり、建物などに八王子産材を使うために寄付を募る。その他一般的な寄付の機会も設けると良い。また、運営に市民の意見を反映する仕組みを作って欲しい。	
33	市民ボランティアや民間を導入した維持・運営を行う。	
34	市にコメントを寄せるだけでなく、市民が主体的に取り組める市民委員会を作り多様な意見をまとめて、良いスペースを作れるよう意欲的に取り組んで欲しいと思う。	
35	デザイン・企画の段階から、市民と一緒に低コストでコラボしていく道を探っていただきたい。	
36	雇用は時代の変化に伴って変化するものであり、新しい雇用創出に寄与する場にしてほしい。	民間主体との連携を進める中では、新たな雇用が創出されたり、施設運営への参加や利用者との交流により地域への愛着が育まれることも効果の1つと考えられますので、ご意見も参考に、様々な民間主体の事業参画等について調査・研究に取り組む考えです。
37	人が集まる複合機能施設の特性を生かし、市民の新たな雇用の場を確保する。「地域愛」の深い市民が雇用され、運営を通じて、さらなる「地域愛」が育まれる。	
38	民間活力というのがとても心配。何もかも民間任せということはないだろうが、市主体で設計、運営等をお願いする。	本用地の活用に限らず、今後の公共施設の整備・運営においては、財政負担軽減や提供サービス充実等を図るため、市民・企業等の民間主

■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）

番号	意見の要旨	市の考え方
		<p>体との連携が重要であると考えています。民間主体との役割分担等は今後の検討となりますので、ご意見も参考に、計画の実現化手法の調査・研究に取り組む考えです。</p>
39	<p>八王子特有の自然、歴史、文化を感じることができ、長時間過ごせる施設や環境でリピートしたくなるものであることが重要であり、素案にあるとおり、複合的なものが必要。</p>	<p>将来イメージである新たな集いの拠点を実現し、幅広い市民の皆さまに繰り返し利用・滞在していただくため、活用計画では導入施設は複合機能施設とすることを位置づけていますので、ご意見も参考に、具体的な施設内容について、検討に取り組む考えです。</p>
40	<p>常時多くの人に来てもらうため、複合施設とすることが必要。</p>	
41	<p>成功している他の例を学んでベストミックスな施設づくりをお願いする。</p>	
42	<p>人が行き交ういきいきしたまちを目指し、おしゃれな坂道にして欲しい。</p>	
43	<p>八王子駅からの歩道に、少し休める椅子等があれば、高齢者でも運動がてら歩けるし、近くには色々な店もできると思う。</p>	<p>活用計画において、本用地は地域の活力・魅力の創出に向けた活用を図ることとしており、本用地への施設導入を契機としたまちの回遊性向上に向けた検討を進めることとしています。また、ご意見を踏まえ、2(4)導入施設のあり方に、用地周辺への波及効果の向上に向けた検討を行う考えを追記しました。回遊性及び波及効果の向上について、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。</p>
44	<p>敷地は八王子の街中に程近く、経済効果も期待できる。坂があるので、新たな交通機関も必要などのイメージになりがちだが、交通機関の構築は難しいし、人の流れができず、界限にお金が落ちない。</p>	
45	<p>跡地にメインとなる施設を設置し、駅前から子安を登る坂の通り沿いに、関連するスポットを市街地活性化地域として線または面のように考えて設計するのがよい。</p>	
46	<p>本用地までの道路に魅力がないので、整備すべきである。カフェやレストランが途中にあると望ましい。</p>	
47	<p>とちの木通り沿いには、ついでに寄れて、ここに来れば何でも分かる蔵書の宝庫、市民も観光客もほっこり出来る地域ブランドの発信・継承の拠点、緑を地域の人々に開放した場、市民・学生・外国人に開いたサロンの集会・講演等にも対応できるコミュニティを設ける。</p>	
48	<p>山田川にフタをして遊歩道にし、フリーマーケット等ができると良い。</p>	
49	<p>八王子駅からの遊歩道と、本用地から片倉城跡公園や片倉つどいの森公園を經由して八王子みなみ野駅に至る散策路を整備して欲しい。車とは無縁の道に、盛夏でも歩きたくなる豊かな緑陰を設けて欲しい。</p>	

■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）

番号	意見の要旨	市の考え方
50	本用地は「拠点」であるとともに「中継点」の観点が必要だと考える。片倉、みなみ野を含んだ大きな回遊性を協創することで、南口周辺の真の活性化に繋がると思う。そして、回遊路を周知することで、大学生にとって、学びの拠点としてだけでなく自主的ボランティア実践の場としても、学生の参画意欲は高まると思う。また、「中継点」は「腹ごしらえ」の意味もあり、地産地消型のフードコート八王子のイメージとして強く打ち出してほしい。	
51	本用地、JR八王子駅、小宮公園、道の駅までの道を再整備し、遊歩道としてはどうか。	
52	ハードだけ語られてもソフトは付いてこない。「八王子の歴史と未来をつなぐ結節点」「まちの価値を創造するパブリックスペース」「誰でも気軽に立ち寄れる居場所空間」は、公園、ミュージアム、ライブラリを造るだけでは実現しない。	将来イメージを実現するためには、ご意見にあるとおり、施設運営等のソフトが重要であると考えています。素案では、施設コンセプトや拠点施設の利用イメージ例として、導入施設の使われ方の例示や、運営時も将来イメージ実現を意識することを留意点としておりました。ご意見を踏まえ、2(4)導入施設のあり方として、ソフト面を重視する考えを追記しました。具体的な施設運営等については、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
53	素案について、全体として共感できるものの、地域の営みからのかい離を防ぐためのソフト面の記述に乏しく、また、「サードプレイス」の概念について、踏み込んだ記述が見当たらず、せつかく用いられた概念だがかえって軽薄な印象を受ける。近年、各地で展開されているサードスペースは、建造物や展示物によりつくられるのではなく、地域に根差すコミュニティによって実現している。従来の公共施設が苦手である踏み込んだ地域連携、優れたコーディネート機能が必要で、これらは参加者の主体的な自治意識によってもたらされる。この意味で、自発的な学びや共同事業・市内事業連携の促進が不可欠で、地域のベンチャー企業などの異業種交流の機会が必要。	
54	複合機能施設のある拠点づくりを進めるうえで、産官学、市民等の協力が重要であり、運営開始後も組織横断的な課題を把握し、解決できる「チームとして力を発揮できる推進・運営体制」を構築する。庁舎内でも他部門が関わるプロジェクトとなるため、組織内の連携が発揮されるよう、プロジェクト組織を統括できる組織体制を構築する。	
55	ハードありきでなく、人のつながり創りありき。つながりを深めるための仕掛け・ソフトを想定	

■活用の考え方（活用方針、将来イメージ、導入施設のあり方等）

番号	意見の要旨	市の考え方
	した建物を建てるという発想の転換が必要である。	
56	本用地は交通の便が良く、文化的なものに利用して欲しい。	導入施設が備える機能として、地域資源を活用した、文化・学びの提供や地域ブランドの発信・継承の機能を位置づけておりますので、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。

■導入施設

▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）、憩いライブラリ（図書館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
1	導入施設に関しては「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」でよい。「憩いライブラリ」については、素案に記載のとおり「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」を充実させる施設にすべきである。特に、歴史・郷土史の勉強・研究に欠かせない資料・関連する本を多数揃えるべきである。八王子だけではなく、多摩・東京の広い範囲からも来訪し研究・勉強できる「ミュージアム&ライブラリ」を建設すべきである。	ご賛同いただきありがとうございます。「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」の複合化が将来イメージである新たな集いの拠点の実現に資すると考えていますので、ご意見も参考に、複合機能施設の効果を発揮できるよう、各施設の具体的な内容や運営等について、検討に取り組む考えです。また、その他の施設の複合化については、導入施設の具体化に合わせて、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。
2	「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」が提案されほっとした。	なお、「健康」は1つの重要なテーマになると考えておりますので、「まちの価値を創造するパブリックスペース」の説明に健康づくりの観点を追記しました。
3	郷土資料館以外では、地域住民の集い・学習・憩いの場となる市民センターの機能と図書館機能は必要。毎日多くの市民が行く施設は図書館しかない。複合させる施設として、郷土資料館（移設）、公文書館、市民センター（子安市民センターの移設）、図書館（中央図書館の移設）、中高生が集える多目的スペース、四季折々に散策できる防災公園、毎日地元の野菜を買える場など、特定の世代だけでなく子ども、中高生、高齢者まで使える複合施設になると良い。郷土資料館、図書館には大型の収納施設も必要。	
4	本用地は八王子市の歴史・文化の拠点としての活用を望む。その点では、郷土資料館やライブラリーの設置は大変良いと思う。この機会に美術館も本用地に移転させ、各施設を一体化させ、公園と合わせて落ち着いた雰囲気文化拠点、市民の憩いの場として欲しい。	
5	市民の健康づくりと新たな公園環境の健全性を確保し、都市型生活文化産業を推進するため、用地全体を「ヘルシーパーク」と捉え、「健康」をテーマとし、「健康」への経路として、公園の利用を促進するとともに、防災機能も十二分に配慮し、花と緑と動物と人とを結び、このエリアをブランド化することで、八王子市の象徴として「次世代型公園」を提案する。市民からの要望も高い図書館設置を望むが、今までの図書館とは異なり、市民の憩いや交流の場としても意義があるマルチメディア化を図った「次世代型図書館」の導入を提言する。「郷土資料館」についても、今までの郷土の歴史資料だけでは	

■導入施設

▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）、憩いライブラリ（図書館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
	なく、脈々と続いている伝統文化、産業の体験と継承、そして新しい生活文化の創造の場として「都市文化伝承館」の創造を提言する。「補完機能」として、アクセスの利便性、安全性や駐車場、フラワードーム、レストラン、カフェ、ドッグランなどについても詳細に検討する必要がある。	
6	現在の中央図書館に変わるもので、市内最大規模の蔵書を備え、視聴覚設備を充実させた図書館を希望する。八王子城、宿場町、千人同心、自由民権運動、繊維産業、八王子空襲、浅川地下壕などに関連する資料の常設展示のある郷土資料館を希望する。小規模な演奏会・イベントなどで、だれもが利用できる200～400席のホールや、講演・勉強会・ミーティングなど多様に使える規模の異なる会議室を希望する。四季を感じる植栽で、高齢者が休めるベンチを多く設置した公園。景観を考慮して複合施設と公園を配置し、開放感のあるエリアとなるよう工夫していただきたい。地元も遠方からも、あらゆる世代の市民がアクセスしやすいように、駐輪場・駐車場もしっかり整備していただきたい。	

■導入施設

▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
1	次の100年間でどんな町になれば市民は癒され幸せを感じるのかを考えると、「緑と歴史文化」を八王子市の顔として公園の中に歴史博物館をはじめとする文化施設があるといった内容でまとめれば良いと思う。歴史・郷土ミュージアムには、郷土資料館をリニューアルするとともにして、講演ホールやグループ学習室、歴史書を中心とした図書室等と、に街中にある美術館を併設してはどうか。公園や各施設の駐車場は広めに設けて、本用地を「緑と歴史文化のまち八王子」のシンボルゾーンとする。先人のいとなみや過ぎた日々を振り返りながら新しい八王子市や国・世界をつくっていききたい。	憩いの場となる「みんなの公園」と地域資源に触れられる「歴史・郷土ミュージアム」を複合化することが、将来イメージである新たな集いの拠点の実現に重要であると考えています。各施設の具体的な内容や運営等については、ご意見も参考に、導入効果を高めるための検討に取り組む考えです。また、他に複合化させる機能の有無等については、ご意見も参考に、導入施設の具体化に合わせて、検討に取り組む考えです。
2	全体的なイメージは、広い憩いの場とし、その中に、歴史、文化、防災関連の機能を配置し、	

■導入施設

▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
	人間の感性に触れられる公園とする。主要施設は、郷土資料館、美術館、防災施設を考える。需要を満たさない現在の上記施設を拡大し、幅広いイベントを行え、市民、地域住民が参加できる施設が良い。敷地全体を芝生等で憩いの場として、各施設を遊歩道で連絡する。	
3	郷土資料館を移転させ、八王子の歴史を学び、四季を通じて、まちに新たな憩いとにぎわいをもたらし、災害時等幅広く活用出来る公園が良い。	
4	八王子は、豊かな歴史・自然を持つ街にしては、文化的施設がお粗末だったので、素案の公園／歴史・郷土ミュージアムの要素は大変良いと思う。郷土ミュージアムは充実した内容になるよう、市民や専門家の意見を取り入れ、運営を含めて検討してほしい。建物だけ立派で内容の乏しいものにはして欲しくない。	
5	郷土・歴史ミュージアムの建設を希望する。八王子には様々な文化財的資料があると思われ、それらをより広く市内外の方に知ってもらうには、現在の老朽化した資料館では限界がある。本用地は駅からのアクセスも良く、また既存の植栽も生かせれば、緑の中のミュージアムとして、公園機能とともに市民の憩いのスペースになり、防災用地としても機能するのではないか。	
6	歴史ある八王子は、人口も多く、高尾山や多くの学校等もあり、住むのに適した市だが、資料館のお粗末さはいつも悲しく思っている。駅に近く、公園も兼ねた、文化的な施設をぜひ建てて、子供達の夢を育てて欲しい。ぜひ資料館設立を希望する。	
7	郷土資料館は老朽化し、バリアフリーでもないため、階段・段差をなくしエレベーターを設置し、新設をお願いする。公園を整備し、その中に建築して欲しい。また、現在の郷土資料館は狭いので、広くして展示物を増やして欲しい。	
8	八王子は歴史も古く、他市と比べて資料も多いと聞いた。それらを大切に保存・公開し、学習することは大事だと感じる。市民がそういうものを大切にしないで新しい歴史は作れないと思う。公園があり、歴史的なものがあり、新しいものがあり、というのが豊かさだと思う。	

■導入施設

▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
9	<p>災害時の避難場所にもなる樹木の多い公園。居心地がよく、憩い、癒しの場所であり、環境問題にも貢献する。その中で学ぶ、鑑賞する、自然を含めた「総合博物館」の建設を希望する。旧都立自然博物館の資料があり、歴史・文化とともに八王子の自然の情報に触れることで、八王子の魅力の共有、未来を考える視点・きっかけとなる。歴史、郷土、自然を調査、研究し、貴重な資料を保管し、その情報を人々に正確、適切に伝えるには高度な知識と技量が必要なため、「ミュージアム」ではなく「博物館」が必要である。</p>	
10	<p>とちの木通り西側は「花の国定公園」とし、市が管理運営を受ける。その中に八王子城風の建物を造り、郷土の歴史・文化展示コーナーや唄・踊りのできる演舞場を設ける。客席の一部では軽食をとりながら観たり聴いたりふれあいの場とする。大災害時は、避難場所として利用する。必要な駐車場は確保する。とちの木通り東側には、福祉や保育機器の体験コーナー、各種学習やイベントコーナー等を希望する。</p>	
11	<p>駅が近く、広い敷地を生かして、人が滞留し、集客力を持ち、かつ良好な景観を維持する、風格の高い都市公園であってほしい。八王子市には大規模ライトアップやイルミネーションがないので、夜も癒される公園になってほしい。また、土地の高低差を上手く活用し、北側の市街地の夜景の見える「展望場所」と夜でも一息入れる「食事処」が欲しい。公園には、郷土資料館と融合して、土地の高低差のメリットを生かし「お城」を建てると良い。城は周辺都市にはない試みで、将来の八王子の財産として受け継がれ、都市の風格と歴史を感じる公園になる。</p>	
12	<p>人が集まる体験ミュージアムを設置して収入を得る計画とする。ただ広だけの公園では収入はない。八王子の財政を考えて欲しい。</p>	
13	<p>用地は高台にあり、展望台の設置も良い。展望台の最上階には、方角表示や山等を記入したテーブルを設置し、展望台の周辺に高尾の杉を屋根に利用した「あずまや」を数棟建てて欲しい。外周部は桜並木・クロスカントリーコースとする。これらと郷土資料館の整備により「文化の</p>	

■導入施設

▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>森」とする。歴史資料館の移転には大いに賛成。歴史・伝統は大切にしなければならない。傾斜を利用した「野外ステージ」を整備し、子供たちの集い、演奏会、パフォーマンスなどのイベント広場とする。</p>	
14	<p>緑地帯公園都市を基本とし、塀の部分を取り壊し、樹木で覆うのが良い。持続可能社会形態の構築、ゼロエミッション生活形態を構築するため、自然エネルギーにより電力・エネルギーを賄う。資源として、生ごみの資源化、間伐材チップ木材の活用とともに、圏外の移動手段としてはちバスを、圏内の移動手段として空気と水とから動力を得るスターリングエンジン車を活用する。郷土ミュージアムには、郷土資料館の機能を移転するとともに、古民家での養蚕業の再現、重要文化財の展示館、や市民企画の展示施設とし、八王子市の環境・生態系に関するシンクタンクとしての機能を設けてほしい。</p>	
15	<p>歴史と未来をつなぐ結節点として、歴史、文化等の豊かな資源の活用・研究を深め、魅力の共有、地域、多世代交流が重要。例えば、田んぼを整備し、ホテル鑑賞や子供が参加できる田植え祭・等、原風景の再現や季節の行事による交流を図る。郷土資料館は、機織り体験、織物の製作販売、神輿・山車・車人形の展示、史跡のジオラマ、市の花（ヤマユリ）の群生、八王子レンガをベンチ・石畳等、大切な歴史を振り返り体感できる施設とする。パブリックスペースとして、賑わい・憩い・防災・環境等、まちの価値を創造し、思いを育てる場とする。〇〇フェスのように、いつも何かやっている「みんなの公園」を設ける。イルミネーションや植栽を工夫して富士森公園と時期をずらして人を呼び込んだり、肥沼医師にちなんで外国とのつながりを示す場を設ける。すべてのエリアで子どもたちの個性が輝くことを目指す。いろんな視線に常に見守られ、大人も子どもたちから刺激を受け、つながり、安心・笑顔・あたたかさが生まれるよう、各施設にはキッズスペースを設ける。居場所空間として、本用地を少し足をのばしても行ってみたい、未来を感じる素敵な空間とする。例えば、室内展示場・ライブハウス等、</p>	

■導入施設

▼みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
	誰でもどんな用途にも解放するホール、公園に隣接し光をたっぷり取り込んだ憩いの場、街に開かれ様々な用途に対応するカフェ。遊具があり、親の目が届き、毎日の散歩、ひなたぼっこができる公園。	

■導入施設

▼みんなの公園・憩いライブラリ（図書館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
1	みんなの公園、憩いのライブラリーでは、四季の感じられる木を植樹し、夏に日影になる大樹も。人間だけでなく、災害時集合場にもなるドッグラン等、動植物にも良い場所に。展望台、涼み台を造りデートスポットとしてはどうか。広場は、フリーマーケット、朝市、ライブ、子供向キャンプ場としても使える。	憩いの場となる「みんなの公園」と居場所空間となる「憩いライブラリ」を複合化することは、将来イメージである新たな集いの拠点の実現に重要であると考えています。各施設の具体的な内容や運営等については、「憩いライブラリ」の実現性の精査を進めるなかで、ご意見も参考に、導入効果を高めるための検討に取り組む考えです。また、他に複合化させる機能の有無等については、ご意見も参考に、導入施設の具体化に合わせて、検討に取り組む考えです。
2	子供、高齢者の命と暮らしに役立ち、文化、教育、医療福祉の充実と生活に潤いをもたらすものであってほしい。具体的には、公園、図書館、医療福祉センターが考えられる。	

■導入施設

▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）・憩いライブラリ（図書館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
1	現在の郷土資料館は多くの資料を所蔵している様だが、展示スペースも狭く、時代に合った展示もできていない。市内の小学生が学習に訪れるなど重要な施設であり、市民や学生に教養を高めてもらうためにも、他市に負けない文化設備が必要である。調べ学習を行う立場からは、郷土資料館と図書館が併設されると都合が良い。	「歴史・郷土ミュージアム」と「憩いライブラリ」を複合化することは、将来イメージである新たな集いの拠点の実現に重要であると考えています。各施設の具体的な内容や運営等については、「憩いライブラリ」の実現性の精査を進めるなかで、ご意見も参考に、導入効果を高めるための検討に取り組む考えです。また、他に複合化させる機能の有無等については、ご意見も参考に、導入施設の具体化に合わせて、検討に取り組む考えです。
2	とちの木通り南側は全世代の学びの場を中心とした、図書館、郷土資料館、集会場等の施設を検討してほしい。	
3	子ども・高齢者・障がい者のための機能を複合した図書館・博物館を設けてほしい。	
4	人口減少・高齢化を迎えるなか、都市として持続可能であるためには新産業の創出と超効率化が必要不可欠であり、「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」は起業支援と文化・情	

■導入施設

▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）・憩いライブラリ（図書館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
	報りテラシー教育の拠点にすべきである。	
5	とちの木通り東側は庭園風に仕立て、郷土資料館、図書館、公民館などの機能を持つ建物を一つ建てる。多くの人が一見の価値ありと認める、調和のとれた斬新な意匠にすることが望ましい。	
6	今後の八王子の歴史・発展の為にも駅にも近い本用地に資料館をぜひ願する。交流、憩いの場、図書館等も、買い物の折り、あれば何よりである。	
7	カフェのような雰囲気の「憩いライブラリ」で、「歴史・郷土ミュージアム」での体験を通して感じたことや考えたことをワークショップなどで気軽に会話したり、詳しい資料にあたって理解を深められる。	

■導入施設

▼みんなの公園について

番号	意見の要旨	市の考え方
1	公園・広場をお願いする。八王子駅南口近辺は雑然とした印象だが、駅に近い本用地に市の顔となる公園が整備されれば地域の雰囲気は一変すると思う。大規模災害時にも公園広場が必要。	大規模である用地の特性、将来イメージの実現、地域の公園配置状況等の観点から、「防災機能を持った、みんなの公園」を導入する考えです。具体的な機能や整備の内容については、ご意見も参考に、施設コンセプトである「まちの価値を創造するパブリックスペース」を目指し、検討に取り組む考えです。
2	刑務所敷地に、防災公園を整備することに賛成。一時的な避難場所に留まらず本格的な防災拠点として欲しい。機能として、防災用の備蓄、ヘリポート、周辺病院と連携した多摩地区の防災拠点として検討する。また、防災機能確保と整備費削減の点から、建物を建てないこと、常設のイベントステージを設けないことを願する。	
3	とちの木通りの西側はひとつの公園として扱うために、刑務所用地と宿舍用地を分けている道路を無くすのが望ましい。そして、刑務所の建物を一部残し、土地の歴史の展示場および休憩場所とし、とちの木通り沿いに冬でもにぎわう温室を設けて欲しい。5ヘクタールに満たない土地なので、他に構造物を設けず、既存樹木を活かした、市民の憩いの場、災害時の一時避難の場としての公園を整備して欲しい。	
4	本用地は八王子中心部に残る唯一のまとまった	

■導入施設

▼みんなの公園について

番号	意見の要旨	市の考え方
	土地であり、防災対策及び文化事業を考える上で重要である。八王子駅周辺に大きな防災公園がなく、市民の緊急避難場所が不可欠で、富士森公園では遠すぎる。	
5	八王子には、広くて子ども達が思い切り遊べる公園がない。公園へ散歩に行っても他の利用者と場所の取り合いになる。近隣に公園があれば、保育園の園庭が狭くても良い基準となっているが、実際には子供が遊べない。	
6	子安・六本杉公園があるので、もう公園は必要ない。公園は子安町の発展を阻害する。	子安公園や六本杉公園が比較的近距離にありますが、大規模である用地の特性、将来イメージの実現、地域の公園配置状況等の観点から、「防災機能を持った、みんなの公園」を導入する考えです。本用地に導入する公園には、特に、災害発生時のJR八王子駅周辺滞留者等の一時的な避難スペースとしての役割を期待しています。具体的な機能や整備の内容については、施設コンセプトである「まちの価値を創造するパブリックスペース」を目指し、検討に取り組む考えです。
7	全体のイメージとしては良く考えられた案と思うが、加えて高齢者の活動広場の設置を強く希望する。高齢者は各々健康維持に努めており、グラウンドゴルフは高齢者の健康維持等に適したスポーツとして、国内に専用コースも多くあり、市内でも同好会や老人会が広場や公園で遊んでいる。しかし、特に市の中心部や南部には大会を開催できる会場が無いとため、多目的広場の一部を、グラウンドゴルフ大会が開催できる平坦な芝生で1.2ha程度確保して欲しい。富士森陸上競技場や河川敷広場で実施している他市との交流大会をアクセスの良い刑務所跡地で実施できれば八王子の評価も高まると思う。	新たな集いの拠点として、幅広い市民の皆さまに日常的に利用していただく、「歴史・郷土ミュージアム」や「憩いライブラリ」といった文化的な施設と複合化した公園をイメージしたとき、「健康」は1つの重要なテーマになると考えています。そこで、「まちの価値を創造するパブリックスペース」の説明に健康づくりの観点を追記しました。その実現に向けて、ご意見も参考に、具体的な機能や整備の内容について、検討に取り組む考えです。
8	グラウンド・ゴルフの大会等で他市に行くが、ほとんどが素晴らしい施設。八王子でも他市の方をお呼びして市役所脇の河川敷広場で楽しんでいるが、少し狭く危険を感じている。本用地に多目的広場を設け、一部にグラウンドゴルフ等の出来る広場を希望する。アクセスもよく、市民の評価も得られると思う。	
9	少子高齢化がさらに進み、医療機関は高齢者が多い。そこで高齢者の活動広場の設置を切望す	

■導入施設

▼みんなの公園について

番号	意見の要旨	市の考え方
	る。市内では、高齢者の健康維持が出来るスポーツ等は多くあるが、中でもグラウンド・ゴルフは老若男女誰でもすぐできるスポーツとして、全国的に盛況。市内各地の同好会等で、学校のグラウンド・公園・河川敷等を利用して楽しみながら健康維持に努めているが、大きな大会は浅川河川敷・戸吹のサッカーグラウンド等を使用しているが、アクセスに大変不便を感じているのが現状である。	
10	平坦ばかりでなく適当に凹凸が随所にある芝生広場を設けてほしい。一般市民の利用と高齢者の健康維持のグラウンドゴルフが共用できる方法を検討してほしい。	
11	健康管理としてグラウンドゴルフを楽しんでいるが、愛好者が一堂に集合した大会会場がないので、多目的広場には、グラウンドゴルフ大会が開催できるよう整地された芝生や人工芝の約1.2~1.3ha確保して欲しい。災害時には一時避難場所や災害救援活動の場としても活用できる。	
12	誰もが気軽に利用できる公園施設にしてほしい。外周をランニングコースとして整備、3面以上のフットサルコート及びストリートバスケットコートの整備、野外イベント等が開催できるフリースペースの確保をお願いしたい。	
13	健康維持のため水泳をしているが、八王子には公式大会開催可能のプールがなく、市民水泳大会も、アクセスしづらい郊外の大学施設を借りて開催されている。50mプールでの練習は町田市・日野市・相模原市のプールまで通っている。プールを含めマラソンやウォーキング、そして地元農産物を中心にした飲食店等で楽しめる総合公園を希望する。	
14	健康のため、行きたいときにできる、屋外の卓球台を設置してほしい。	
15	春には花見、夏には花火鑑賞など、子どもから大人、お年寄りまでが集えるような公園にして欲しい。	将来イメージを実現するためにはイベントをはじめとする施設運営等のソフト面が重要であると考えていますので、2(4)導入施設のあり方に、その旨を追記しました。具体的な施設運営等については、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
16	中心市街地や市内イベントで公園・広場を使用できるようにしてほしい。飲食物を取り扱う場合の規制を緩和したり、車の乗り入れを可能にしたりして、朝採れ野菜フェアやマグロの解体ショーのようなその場での調理も可能にしてほ	

■導入施設

▼みんなの公園について

番号	意見の要旨	市の考え方
	しい。	
17	現在公道で走れない「セグウェイ」を体験できる公園とし、これに乗りたくてここを訪問する若い世代のファンの獲得を目指す。	
18	防災拠点・博物館以外の部分を公園とし、イルミネーションができるようにしてはどうか。	
19	建物は民間が充分すぎるほど作るので、公共用地は自然を残し、建物を建てないで欲しい。木々はある限りそのまま、子ども達が走り回れ、凧上げなどができる原っぱが良い。子どもの遊び場があると若い世帯も増え、子どもが成長すると、八王子に愛着もわき、ファンキーモンキーベイビーズのような地域発信をするかもしれない。将来を見越した計画をお願いしたい。	自然を感じられる植栽やベンチ等の具体的な整備内容は、将来イメージの実現に向け、幅広い市民の皆さまに気軽に利用していただけること、施設コンセプトである「まちの価値を創造するパブリックスペース」を目指し、ご意見も参考に、その他の施設との複合化も含め、検討に取り組む考えです。
20	池や小川、桜・梅・イチョウ・紅葉などを設置してほしい。	
21	医療刑務所跡地は自然と親しむ場と、人と人との交流の場と考え、既存の桜を生かし、周囲を植栽し、ベンチを設置する。内側は芝生にして、幼児から高齢者が自由に活用出来る空間を確保して欲しい。	
22	カフェ併設の植物園や、駅の近くでありながら野鳥観察できる立地を生かし、バードウォッチングのスペースを設け、八王子の自然を体験する。	
23	「みんなの公園」は、すぐに色褪せてしまうような小細工ではなく100年先を見越した植栽計画で造って欲しい。	
24	「みんなの公園」については、防災機能に加え、環境学習の視点での整備を図って欲しい。例えば、環境指標の表示パネル設置、多摩固有種の植栽と説明パネルの設置など。	
25	医療刑務所がある土地は、既存の運動場を利用した運動公園とし、緊急時には避難場所とする。国道16号線に接し、将来は東八道路にも近く、災害時の重要な非難場所になると思う。周囲を樹木で囲み、中央は芝生広場の公園にして、昼間は誰でも自由に使え、夜間は入場管理すれば治安も良くなると思う。	
26	刑務所用地は、防災拠点、子育て支援の観点から「自分の責任で自由に遊ぶ」キッズパーク/プ	

■導入施設

▼みんなの公園について

番号	意見の要旨	市の考え方
	レーパーク（冒険遊び場）にすることを提案する。設備にかかる費用が低予算で、見守りをする大人のスタッフは地域や近接大学のリソースを活用でき、世代をまたがる市民交流の拠点ともなる。	
27	スポーツ設備は、富士森公園の陸上競技場を、味の素スタジアムのように改造・貸出しする工夫をすれば街の発展につながる。	「みんなの公園」と富士森公園については、それぞれの役割や特徴を整理し、整備に向けた検討に取り組む考えです。

■導入施設

▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
1	次の100年につなげるために、歴史・郷土ミュージアムの設置を希望する。	将来イメージの実現、豊かな歴史・文化等の地域資源の活用、現在の郷土資料館の老朽化や展示・収蔵スペースの不足等の観点から、「歴史・郷土ミュージアム」を導入する考えです。具体的な機能や整備の内容については、ご意見も参考に、施設コンセプトである「八王子の歴史と未来をつなぐ結節点」を目指し、検討に取り組む考えです。
2	歴史豊かな八王子の郷土資料に触れ、子ども達に八王子の歴史を知ってもらい、また郷土愛を持ってもらいたい。学生や大人には郷土資料に触れて興味を持ってもらい、話題の糧を作れる場、憩いの場となるべき「歴史・文化ミュージアム」を作ってほしい。	なお、施設運営等のソフト面が重要であると考えており、2(4)導入施設のあり方として、その旨を追記しました。
3	文化施設として、歴史ある八王子にふさわしい歴史・民俗学の郷土資料館が必要。街を知らない人や、大人も子どもも共感できるものでなければならない。また、通常時の居心地の良さも考慮し、食事ができる施設の併設や、長時間過ごせる質の良い空間と、利便性の高い施設の併存が望ましい。さらに欲を言えば、美術館、こども科学館の併設も視野に入れて欲しい。	
4	郷土資料館建設とともに、市民のつどえる場所が欲しい。平成28年度の新八王子市史の完成を考えると、膨大な史資料の保管活用場所としても、新しい資料館が絶対必要。歴史に富んだ八王子で、中核都市として、是非資料館を建てて活用して欲しい。	
5	現在の郷土資料館は、立地や展示方法に起因して、稀に小学生が見学に来るものの、日常あまり利用者がいないと思う。本用地は格好の場所で、人口50万人の文化都市として現資料館を発展させた館を強く要望する。各地の資料館に比べ、八王子の施設は貧弱。運動的施設、劇場的施設とともに、歴史文化施設の設置は大切。	

■導入施設

▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
6	八王子の歴史の大切なアピールスペースだと思う。一つしかない郷土資料館は一つだけで良いので残すべきだと思う。	
7	郷土資料館を希望する。現在の施設は老朽化し、駅からも遠い。ぜひ建替を。	
8	現在の郷土資料館は駅からも遠く、市民に八王子の歴史を身近なものとして分かってもらうためにも、郷土資料館の建設をお願いする。現在の施設は老朽化しており、新しい時代にあった展示方法で、八王子市民が実感できるものを希望する。	
9	現在の郷土資料館は老朽化が目立つ。八王子は石器時代以降の長い歴史があり、歴史の町だと思う。貴重な遺物が多く発見されたが、郷土資料館が狭く、ほとんどが倉庫に眠っている。資料室も、本を置くスペースが狭く、ゆっくり調べるスペースもない。中核市八王子の歴史を広く周知するためにも新資料館はぜひ必要。	
10	現在の郷土資料館は収蔵施設が一杯で、展示スペースや講義室も手狭である。市制100周年の中核都市にふさわしい郷土資料館を設置し、市民が利用しやすく、「さすが歴史のある八王子市の資料館」といわれるハードとソフトを備えた施設に生まれ変わって欲しい。	
11	昔から要所である八王子の存在が、年々意義あるものとして実感できるようになってきたが、現在の狭い資料館の有様では、文化に対する軽視を悔いる時が早晚やってくる。スポーツは結構だが、ここに来れば心の安らかさが得られる場所がどれほど望まれていることか。	
12	郷土資料館は老朽化し面積も狭く、古い歴史資料も多いが十分に展示出来ず、他の町の資料館と比較しても大変お粗末だと常々と思っていた。八王子をより多くの人に知ってもらうには資料館は大切な場所だと思う。ぜひ資料館を新しく、多くの人達に足を運んで頂ける、近代的で楽しめる場所になるよう、市は力を入れるべきだと思う。	
13	郷土資料館をお願いする。八王子にある歴史資料などをまとめて展示・保管する場所は絶対に必要。関係書籍なども集めれば、使い勝手が良いものが出来ると思う。	

■導入施設

▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
14	周辺市町村では地域文化を担う資料館などが整備されている。56万人都市の八王子が現状ではあまりに寂しい。市民意見を取り入れ、郷土資料館、公文書館のようなものをぜひ建設して欲しい。貴重な郷土資料は保存場所がないと消滅する。市民意識を高めるために必要だと思う。	
15	「八王子の歴史と未来をつなぐ結節点」を整備することに大賛成である。現在の郷土資料館は設備など不十分であり、大改革が必要と思う。しかし、八王子医療刑務所移転後用地の核施設として郷土資料館を移転拡充することには賛成できない。素案では、本用地を「八王子の歴史と未来をつなぐ結節点」とする理由が読み取れない。「八王子の歴史と未来をつなぐ結節点」は、拠点の郷土資料館、市内各地に散在している官民の歴史と未来についての研究機能、資料館、中央図書館などと合体させ、中心市街地に置くべきと思う。したがって、本用地は、駅南地区におけるコミュニティ形成に資する土地利用と未来志向のまちづくり用地として活用すべきと思う。	将来イメージや施設コンセプトを踏まえるとともに、豊かな歴史・文化等の地域資源の活用、現在の郷土資料館の老朽化や展示・収蔵スペースの不足等の観点から、本用地へ現郷土資料館の機能の移転を含む「歴史・郷土ミュージアム」を導入する考えです。新たな郷土資料館に求められる展示・サービスの導入や他の施設・機能との複合化の可能性を考慮して、本用地が「八王子の歴史と未来をつなぐ結節点」となり、幅広い市民の皆さまに利用していただけるよう、ご意見も参考に、具体的な機能や整備、施設運営等について、検討に取り組む考えです。
16	郷土資料館の移転には反対である。この場所に作る理由がない。小中学校の廃校で、郷土発展につながるのある地に移転し、広い敷地を利用し、十分な歴史を描くほうが良い。「歴史・郷土ミュージアム」の入場者数でもって、この地に良質な賑わいと訪問頻度を高めることには疑問。	
17	郷土資料館等の案もあるようだが、予算は貴重な税金なので、慎重に検討して欲しい。	
18	文化財収納庫は整備するが、博物館の設置は再検討してほしい。設置する場合には有料とし、入場料で運営できると良い。修繕等にかかる費用を試算・公表し、市民意見を聴くべきである。	
19	何度も訪問できる、訪問したくなるような郷土歴史資料館にしてほしい。	
20	歴史資料館を。この場所に行けば八王子の歴史がすべてわかるような所、ランチを持って1日ゆっくりと楽しめる場所があったら良いと思う。	
21	郷土資料館にも学習室など市民が集う場があるといいと思う。	
22	"気軽に立ち寄れる居場所空間"の善し悪しで、歴	「歴史・郷土ミュージアム」に限らず、導入施設は気軽に利用でき、居心地良い空間とすることとしています。また、「八王子の歴史と未来の結節点」となる「歴史・郷土ミュージアム」では地域資源に触れられること、地域ブランドの発信・継承の拠点となることを目指していますので、ご意見も参考に、具体的な整備内容等について、検討に取り組む考えです。

■導入施設

▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
	史・郷土ミュージアムの人気が大きく変わると思う。富士森公園の更なる充実によるプロスポーツ等の試合や宿泊娯楽施設と、それに付随するイベント等によるミュージアムの利用、映画館、食事処、国内外の文化交流等ができる施設が良いと思う。暗い、堅苦しい、ミュージアムにしないほしい。	
23	郷土資料館は、下恩方の機織りや古民家で使用されていた土釜などの保管、古民家そのものの再現や保存したものを設置してほしい。また、市民活動スペース、高齢者ボランティアなどによる教室、学生起業家のためのチャレンジブース、市内デザイナー等の作品展示などのスペースを設置してほしい。また、同一スペースに高齢者・障害者や児童が市民と集えるスペースを設置してほしい。	
24	本用地には、市民の為のものを造って欲しい。郷土資料館を移転し、御陵線、多摩御陵、甲州街道など、八王子の歴史のことを紹介するのが良い。	「歴史・郷土ミュージアム」での展示内容は、地域資源を活用した文化・学びの提供や地域ブランドの発信・継承の機能を担えるように、ご意見も参考に、様々な地域資源に触れられる機会の提供を目指し、検討に取り組む考えです。
25	八王子城跡から見つかったガラスの破片（ベネチアのレースガラス）は八王子市以外にはなく、これを活用し、八王子を「ガラスの街」にしてはどうか。生涯学習の充実や地域特産品開発にもつながることになると思う。本用地を未来のために活用していただきたい。	
26	現郷土資料館を移転する「歴史・郷土ミュージアム」に、各町会の山車を保管・展示するスペースを確保し、年間を通して八王子まつりに触れられる施設を併設して欲しい。伝統の山車を通して八王子の歴史を学習でき、まつり以外の期間でも観光客の導入を図れると考える。	
27	"次の100年をつくるまち"となるよう、八王子空襲など戦争を伝える展示なども期待する。	
28	「歴史郷土ミュージアム」は単なる資料の展示による過去の学習機能ではなく、現在もかろうじて残っている民俗文化を市民が体験し、伝え、残していく機能を充実させる。例えば、八王子（宇津貫村）で始まったメカイ編みの保存・技術研さんの場等として、民俗技術の保存・普及を図ることで、八王子の誇りが生まれることを期待する。	「歴史・郷土ミュージアム」での展示方法や施設運営は、時代・市民のニーズに応じた特別展や体験型イベント等を通じて八王子の歴史・文化等を学べる場となるように、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。

■導入施設

▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
29	<p>とことん体験できる「歴史・郷土ミュージアム」として、様々な演劇・映像や、車人形・機織り等の体験。また、体験での製作物の持ち帰りはもちろん、地域のプロが製作した完成品等をお土産として購入し、思い出を「お持ち帰りできるミュージアム」を目指す。</p>	
30	<p>最近刊行された「八王子市史」は豊富な内容でとても貴重な資料だが、高価で大きく重いという難点がある。「歴史・郷土ミュージアム」では市史のポイントを見える化して、来訪者により八王子を知っていただく機会を提供して欲しい。</p>	
31	<p>「歴史・郷土ミュージアム」の運営について、学芸員は特別展の企画や図録作成をはじめとする日常業務が忙しく、研究発表等、「研究員」としての活動機会が必要であるが、現状は日常業務が忙しく、自身の研究は後回しである。また、博物館は、廃棄物の物置、珍品の陳列場所、懐古の場所等、それに関わる担当職は閑職と誤解されがちだが、近代博物館は社会教育上で、職員はスペシャリスト。「歴史・郷土ミュージアム」は、博物館活動を展開し、市民の学習を助け、地域を発見し、創造活動を助け、地域に自信をもたらす活動等をする重要な社会教育機関であり、その中核が学芸員なので、活動を保証する身分と待遇・人員を用意する必要がある。一方で、その成果はつかみにくく、経済的効果も期待できないことも認識する必要がある。</p>	<p>現郷土資料館の機能の移転を含む「歴史・郷土ミュージアム」では、幅広い市民の皆さまに八王子の歴史・文化等に触れていただくだけでなく、その前提となる研究活動も重要になるものと考えています。また、専門家等による研究のほか、市民の皆さまをはじめとする利用者自身による地域ブランドの発信・継承の活動にも期待しています。具体的な施設運営や研究活動について、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。</p>
32	<p>現在の郷土資料館は老朽化し、バリアフリー未対応なので「歴史・郷土ミュージアム」を進めて欲しい。新しい郷土資料館では、収蔵資料や調査研究成果を市民に還元する活動をさらに深めて欲しい。例えば、八王子特有のテーマ別展示、竪穴住居などの野外展示、史跡めぐりウォーキングコースの整備、市内の歴史文化施設との連携イベントの実施など。</p>	
33	<p>旧稲荷山小に収蔵されている生物標本を保管し、学芸員が常駐し、動植物の調査研究をする人たちが集い、情報を集積・交流できるような自然史研究活動拠点を整備していただきたい。子どもたちの理科への関心を高め、やがては八</p>	

■導入施設

▼歴史・郷土ミュージアム（郷土資料館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
	王子市域の地域学の発展、環境保全に大きな役割を果たすだろう。安易に多目的な施設とせず、郷土資料館のリニューアル+自然史研究活動拠点の機能を充実させ、多摩地区及び東京都の自然史調査研究活動をリードする施設計画としてほしい。	

■導入施設

▼憩いライブラリ（図書館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
1	八王子市は人口、面積に比して図書館の数が少ないという現状を改善してほしいので、「憩いライブラリ」に図書館機能を持たせることを強く要望する。「ツタヤ」のような運営方式でないものが良い。	将来イメージの実現や「誰でも気軽に立ち寄れる居場所空間」の施設コンセプト等の観点から、「憩いライブラリ」を導入する考えです。具体的な機能や整備内容、施設運営等については、ご意見も参考に「公園」、「歴史・郷土ミュージアム」の具体化検討を踏まえた実現性の精査を進めながら、気軽に立ち寄り、何度も繰り返し訪れたい空間をめざし、検討に取り組む考えです。
2	ぜひ多機能型図書館を造って欲しい。中央図書館は西八王子にあるが、市の中心ではなく、規模・機能も限定的。図書館は、誰もが気軽に来られ、誰もが知っているのが、工夫次第で多世代の居場所になる。他市では図書館を中心とした複合施設があり、活気が溢れていた。また、生活に困った際に調べものに来る場になれば、セーフティーネットを支える場としても機能する。市民活動の情報や活動場所が共にあれば、いきいきと活動に取り組み、図書館の蔵書もより活用されると考える。	
3	自習スペースのある図書館を作って頂きたい。市内に大学が多数あるのに、図書館が少ない。中央図書館は市街地から遠い西八王子に位置しており、八王子駅から徒歩圏に図書館を作るメリットは大きい。活用コンセプト（学びと交流）にも一致する。周辺の住宅環境にもなじむ。	
4	図書館を造って欲しい。子どもたちの学力や情操の発達には、読書がとても大切だと思う。	
5	"集いの拠点"として、市民会館、図書館、児童館を充実させて欲しい。自然と調和させた場にして欲しい。	
6	緑豊かな四季の森、若い人たちが憩いに子育てに利用しやすいオープン施設、八王子駅北口図書館と同じ位でオープンカフェのある洒落た憩いのある低層図書館を作る。	

■導入施設

▼憩いライブラリ（図書館）について

番号	意見の要旨	市の考え方
7	歴史・文化施設では、図書館に、視聴覚設備付けたり、点字等の配慮が有れば良い。現在の美術館を移転させる、展示場を民間開放、飲食可能も。	です。

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
1	大小様々な会議室を気軽に安く誰でも借りられるように作って欲しい。	多目的室・ホール等のコミュニティ活動や多世代交流の施設を導入することは、活用計画に明記しておりませんが、学び、交流、集い等を本用地の活用における重要な考え方としておりますので、ご意見も参考に、活用計画でお示しした導入施設への複合化の可能性を含め、検討に取り組む考えです。
2	旧市民会館内にあった公民館を再建してほしい。市民が気軽に利用できる公共施設がまだまだ足りない。56万人の中核市としてワンランク上の街づくりには欠かせないはず。	
3	子育ての拠点、近隣の高齢者や住民が交流できる場所、多目的ホールがあれば良い。	
4	各種ボランティア組織の活動拠点が欲しい。なるべく住民に近く、市のあちこちにつくる必要があると思う。住民が使いやすい会議室（多目的ルーム）等が欲しい。	
5	市民センターの数が不足しており、予約するのが大変。市民活動を支援する場を作って欲しい。	
6	20人～60人位の部屋を多く設けて欲しい。趣味の会のお稽古や発表会等や、友人などと集まれることもでき、災害時の宿泊にも便利である。	
7	労政会館が移転すると、300人前後が映画を見たり講演を聞いたりする施設が無くなるので、多目的ホールをつくって欲しい。	
8	学術集会が開催可能な国際会議場を設置して欲しい。多摩地区から山梨方面には大規模な施設がなく、各地の既存設備は主要駅から離れている場合が多く、八王子駅に近い施設であれば十分な需要が見込めると考える。	
9	市民の多くの世代が自由に楽しめる、コミュニティ活動の出来る場所にして欲しい。	
10	高齢者・障がい者・学生・子どもなど、あらゆる多世代が交流し集える低層の複合施設と広場を作ってほしい。	
11	多世代の結節点としての複合施設を核とし、多くの人交流し回遊する丘を創造する。今日、グローバルな視点と少子・高齢化は喫緊の課題	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>であるので、多世代の人々が集い、交流し、回遊を目指す施設を造り、この課題に挑戦する。特に青年世代として、市内大学の部活動で活躍する学生を資源とターゲットとする。市内の大学・高校には有力チームがあり、合宿施設を整備すれば、練習や試合相手等も利用し、ランニングコストが解消する。他にも、研究・展示・サロン等の場所があれば起業家の育成も可能で、八王子市への定住者も促す。老人ホーム、保育・幼稚園もあわせた複合施設で、敷地内に大きな花壇も整備する。</p>	
12	<p>一角を江戸村風にし、子どもから高齢者までが安心して交流しながら憩えるエリアを設けてほしい。</p>	
13	<p>ミニコンサートなどを開ける、音響の良い小さな音楽ホールを作って欲しい。</p>	<p>ご意見にある文化・芸術活動の場等となる施設は市が導入する施設として、活用計画に位置づけておりませんが、文化振興・発信、学び、集い等の点は、本用地の活用における重要な考え方としておりますので、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。</p> <p>なお、施設運営等のソフト面が重要であると考えており、2(4)導入施設のあり方として、その旨を追記しました。また、ご意見を踏まえ、2(3)において「民間主体」としていた表現を「市民・企業・大学等」と具体的に明記しました。</p>
14	<p>オリンパスホールはまだまだ発展の余地がある。その発展形の向こう側に見える客層が本用地のターゲットとなる。キーワードは「文化（の香り）」、「音楽」、「ゆとり」である。大学生が多い若者の都市・学園都市であることを活かし、八王子市学園都市センターなどを取り込み、音楽や文化を好む若者・大学生が集う場を跡地開発の核として設置すべきである。音楽や文化を好む若者・大学生が集う場ができれば、南口から本用地までのルートに楽器・音楽関連の商店、喫茶・カフェが自然発生的に出店されていくのではないかと。</p>	
15	<p>「野外音楽堂」の設置を提案する。ダンスの発表ステージや、映画、演劇等の会場が不足している。野外音楽堂であれば、ホールよりも建設費や維持管理費が少なくなる。周辺的生活環境については、電子楽器の禁止や防音壁で対応する。バーベキュー・グリルや水場なども設置しておけば、市民がピクニックに利用できる。また、これらの設備は、震災時の「炊き出し」などにも活用でき、防災広場としても有効である。キッチンカーやカフェを併設することにより、「八王子フードフェスティバル」や「B級グルメ大会」なども誘致できると思う。</p>	
16	<p>日本には国立デザインミュージアムがなく、誘致して国に建設してもらおう。公園・ミュージア</p>	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	ム・図書館に加えることで、を含めた文化複合施設として格を高めて欲しい。八王子には国の施設が少なく、また多摩地域の文化水準向上のためにも実現して欲しい。	
17	傾斜地を利用した地中型のデザインミュージアムを設置してはどうか。施設は全て地中に設け、上部に八王子の農業・里山を表現した広大な公園にしてはどうか。	
18	日本初の「アニメの殿堂」を造って欲しい。アニメの総合コンテンツの博物館を作り、世界各国より集客する。アニメは、国策のクールジャパンにおいて重要であり、国や東京都と協力し、まちの活性化のみならず、日本のアニメの発展に寄与できる。また、日本漫画家協会や市内の大学などと連動し、産官学の取り組みが良い。	
19	人口50万人以上の中核市・八王子市にはコミュニティFMが存在せず、待ち望む声もある。文化の発信源として期待され、放送設備は防災FMの活用、運営者は八王子市学園都市センター、運営コストは大学コンソーシアム八王子・八王子学生委員会・学生を中心とした新施設利用団体に期待できると考えられる。	
20	日本人はお祭りが好きなので、そこそこのお祭りができるスペースを設けてほしい。	
21	高齢者の増加が見込まれる八王子で、駅に近く便利な本用地に、低層（5階迄）の自立型高齢者施設の建設を望む。八王子駅に近く、1階は商業施設の入居、2階には高齢者が集える場を設けて欲しい。	高齢者福祉施設・子育て支援施設・障害者福祉施設等は市が導入する施設として活用計画に位置づけておりませんが、市が活用しない用地が生じる場合、当該用地は、市の活用効果の向上や周辺地域のまちづくりに寄与する活用に向けた検討を行うこととしていますので、ご意見も参考に、この点を踏まえ、検討に取り組む考えです。
22	低所得者でも入居できる老人ホームを設置して欲しい。マイクロバスで市内、市役所とか病院とかまわれるようにしてほしい。	
23	住民が集いやすい、シルバーフラットのような見守り拠点が欲しい。高齢者の買い物難民が多い地域なので、八王子産の農産物等の購入やアウトリーチできるところが欲しい。	
24	高齢者向けの施設の建設を含めていただきたい。具体的には、食事等を楽しみながら会話を交わせるレストラン、映画・演劇などができる集会場、高齢者に使いやすいプール、バターゴルフやペタンクなどのできる広場、診療所をお願いしたい。	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
25	待機児解消のため、認可保育所の大量増設。	
26	産前産後養生施設と未就学児の一時保育施設。産前産後は大切な時期であるので、助産院のようなケアが誰でも受けられるような施設やサービスがあれば良い。産後、上の子の一時預かりができる施設もあると良い。さらに、待機児童のために働けない女性も多いので、週に1回でも託児を利用しながら仕事もできるような仕組みがあれば良い。元気なお年寄りや育児中のお母さんが、みんなで子供たちを見ながら、仕事（やりがい）にもつながるような施設ができたとしても素敵だと思う。	
27	子どもたちがより良い福祉が受けられるような心身障害児医療施設が八王子駅近くにあると良い。	
28	市が取得する用地にグループホームや日中作業所等の施設を建てる場所を造って欲しい。住宅地への福祉施設の設置は、障がいの有無に関わらず同じように生活することを勧める市の姿勢を示すとともに、建設について近隣住民の理解を得やすい効果があると思う。福祉施設の需要は増加しており、住宅地への施設建設の難しさを減少させるための政策を願う。	
29	互いに交流できる広場があり、つながり、きずな、思いやりなどが育まれる保育所、学童、老人ホームなどの一体化。	
30	素案に福祉関係のものが無いのは問題である。健常と言えない未健常高齢者と中年以上の障害者が一緒に生活できるような弱者生活支援施設が欲しい。	
31	高齢者・子ども・障害者が差別なく暮らしていける空間として、公立で安く入れる特養老人ホーム、文化の中心となる小さなホール・会議室、児童館などの子どものための施設、駅からの交通網整備、バリアフリーの視点を取り入れることである。	
32	子どものために保育園・学童・児童館、高齢者のために老人ホーム、デイサービス等の小規模多機能型施設、障がい者のために市役所の基幹相談室の設置を望む。	
33	八王子駅から比較的近い特徴を生かして、幼稚園・保育園、高齢者・障害者のデイサービス、	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	フリースクール等を設置し、この拠点の魅力に満足して集まるだけではなく、送り迎えの方々による「必然的な集い」から、新たな出会いと交流を生み出す。	
34	未来を担う子ども達とその保護者を計画の中心として考えて頂きたい。歴史資料館等に学びに来るだけでなく、自然に大人に褒められたり怒られたりして、子どもが社会を信頼して成長し、まわりの大人同士が繋がって支える、そんな関係を築ける場所になれば最高。そのため、人が必然的に出入りする、フリースクール、食堂、子育て支援センター、室内遊び場、障害者作業所等を設置してはどうか。可能ならば児童養護施設や保育園、障害者や高齢者のグループホームもあれば楽しい。	
35	医療刑務所跡地は、駅から上り坂になっており、高齢者向けの施設には適さない。	導入施設は、高齢者を主な利用者とする施設として活用計画に位置づけておりませんが、導入施設は幅広い市民の皆さまに利用していただけるよう、アクセスの重要性を留意点としています。誰でも気軽に立ち寄れることを施設コンセプトの1つとしていますので、アクセスに留意しながら、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
36	他の地域の人にお金を使って頂き、八王子を活気あふれる街にするため、外国人も楽しめるおもてなし宿泊施設（ユースホステル）を設けて欲しい。八王子市民との交流もできる。宿泊施設には、宿泊者も住民も使えるキッチンや、ペットと泊まれる部屋も設けて欲しい。八王子の子供からお年寄りまで使える運動場所、保育預かり施設を設けて欲しい。飲食店も参入して欲しい。もっと沢山の人が八王子に来てもらい、飲食店、商店、さまざまな元気を取り戻してほしい。八王子を楽しく、安全な街にしたい。	宿泊施設は市が導入する施設として活用計画に位置づけておりませんが、本用地の活用が周辺地域への波及効果をもたらす視点は重要であり、2(4)導入施設のあり方に、回遊性向上と併せて、波及効果の向上を検討する旨を追記しました。また、地域資源・民間資源との連携が重要であるとの考えに基づき、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組みます。
37	外国人を含め、高尾山への訪問客が多いにも関わらず、現状では市内回遊と宿泊に結びついていないため、本用地の施設は宿泊施設も兼ねることを提案する。	
38	常時来訪者が絶えず、既に世界一である高尾山以上に良いネタはないと感じる。登山者の方々を市内にステイさせる手段として、官舎を有効活用した簡易宿泊施設を基盤とした、イベント	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>ホールや多目的施設などを希望する。運営は、近隣の大学や既存店舗等とタイアップするなど、方法はいくらでもある。南口の開発も進み、家電店・飲食店・芸者さん・温泉などあり、海外からの来訪者にはアピールできる。魅力のない八王子市街で市民が経済活動しない現状は変えられないし、市外から人を集客できる魅力もないので、世界から人を呼ぶしかないと思う。郷土資料館・公園・・・が出来ても、利用することは恐らくない。山側の住民は公園に行かなくても自然の中で十分に遊べる場所に生活しており、由木方面はニュータウンの効果もあり公園の中に住まう環境で、あえて遠いと感じる中心街のありふれた公園や資料館に行きたいと思わない。全八王子市民が通うようなものは難しいでしょうから、せめて、経済効果が期待できるものが良いと考えるが、近隣施設を真似したような文化施設や商業施設は永続的に続くとは思えない。とすると、高尾山しかない。</p>	
39	<p>高尾にも足を延ばせ、日帰りせずにゆっくり学べ、八王子を楽しめるようにするために、リーズナブルな宿泊施設を併設する。スポーツ遠征で八王子に来る学生なども泊れる。</p>	
40	<p>宿舎用地には民間の資本を導入し、増加の一途をたどる外国人観光客や市民以外の宿泊ニーズに応えるため、低層の宿泊施設を建設すべきである。</p>	
41	<p>素案を考えるにあたり、改めて、八王子は地域資源が豊富であることに気づき、特に観光資源である高尾山とその周辺環境は目を見張るものがある。高尾山は外国人観光客も激増しており、簡易的な宿泊所やビジターセンター出張所を併設し、観光拠点の役割も持たせる。</p>	
42	<p>「本州にオンリーワン」、「歴史の1ページ」、「市外からの集客」、「子供らへの学習効果」を同時に満たす、医療刑務所を一部でも保存・公開し、プリズンホテル（刑務所の宿泊体験）が良い。建物の保存に向けて、国と交渉すべき。</p>	
43	<p>地下に駐車場・バスターミナルのあるオープンスペース付「道の駅地場産センター」。多数の人が来て、知り、物を買ってもらうため、近隣近郊の人の買物市場、地場産業のPR、即売コー</p>	<p>道の駅（地場産センター）や農作業体験等は市が導入する施設として活用計画に位置づけておりませんが、地域資源・民間資源との連携が重要であるとの考えに基づき、ご意見も参考に、</p>

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	ナー等を整備する。	市内外の様々な方に地域ブランドを発信・継承することを旨とし、検討に取り組む考えです。
44	都内最大の農地面積の市として農作業体験を行ったり、学生・農家が協働運営する地産地消レストランも良い。「歴史・郷土ミュージアム」の来場者だけでなく子育て世代の女性や高齢者、障がい者等も、地域の産品に気軽に親しめて、食事や会話を楽しむことができる。	
45	小さくても良いので、学びや癒しを受けられる農業の場を設ける。	
46	内陸型的水族館を設置してはどうか。季節、年代を問わず楽しむことができる。また、観光客を集客することができる。また、椅子・テーブルを配置したり、子供や市民の作品展示の場を設けることで、天候の良くないときにも多くの市民が訪れるのではないか。また、外周は季節の花を楽しみながら散歩したり、お弁当を食べたりできる明るい公園を設置してほしい。八王子にはこのような公園がない。	水族館は市が導入する施設として活用計画に位置づけておりませんが、公園については、草花に触れたり、憩いの時間を過ごせる場をイメージしておりますので、ご意見も参考に、導入施設の内容や運営等について、検討に取り組む考えです。
47	企業の本社ビルを誘致し、八王子駅周辺に会社員を増やし、中心市街地活性化に役立てて欲しい。その際は、可能な限り高度利用を図り、高層建物を建てて欲しい。	企業誘致・起業支援施設等について活用計画に位置づけておりませんが、八王子駅から徒歩圏の大規模用地である本用地は、まちづくりの核となる用地であり、地域の活力と魅力を創出に向けた活用を図る考えです。まちの新たな活力・魅力を創出するため、地域資源・民間資源との連携が重要であるとの考えに基づき、活用計画の実現に向け、ご意見も参考に、今後の検討に取り組みます。
48	八王子は大学が多く、学び・研究の場が多いにも関わらず、ベンチャー企業等の企業育成やマッチング等の支援が不足している。この拠点に、インキュベーションセンターやビジネス交流の場も設置し、環境・歴史・郷土をビジネスと関連させ、税制に頼らずに自立・発展するシステムを導入する方がいいと考える。例えば、ゲーム、アニメなどの無形文化と八王子の魅力を融合させ、ビジネスとして成長させる施設にしてはどうか。	
49	サッカースタジアムを建設し、各種イベント(何万人規模)と防災機能を具備して欲しい。八王子はサッカーが盛んで、Jリーグの誘致や育成をして欲しい。また、八王子に何万人規模のイベントができる施設がないため、大型コンサート等もできるサッカースタジアムを兼ねたイベント会場を建設して欲しい。	
50	サッカー及びラグビーの試合が開催できる収容人員1.5～2万人規模のスタジアムを建設すべきである。理由として、真の意味で「活性化	大規模・広域集客に資するスポーツ競技場は市が導入する施設として活用計画に位置づけておらず、本用地への導入は考えておりません。なお、八王子駅から徒歩圏の大規模用地である本用地は、まちづくりの核となる用地であり、地域の活力と魅力の創出に向けた活用を図ることとしています。まちの新たな活力・魅力を創出するため、地域資源・民間資源との連携や施設運営等のソフト面が重要であるとの考えに基づき、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>の起爆剤」「新しい八王子のシンボル」とするのであれば、素案は内容が不十分である。観客席の下に「郷土・歴史ミュージアム」「カフェ」「図書館」「市民交流スペース」等を導入し、スペースを有効活用する。広大な駐車場は不要で、駐輪場と観光バスの待機場があれば十分である。八王子市の魅力を広く発信するため、スポーツ・コンサート等のイベントで、市外から広く集客し、特産品等をPRする。2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピックのキャンプ地として活用できる施設とすることで、「世界の八王子」となる。収入が限られ、維持管理にコストのみが発生する計画には反対である。スタジアムであればJ2で年間30～40万人が有料入場し、経済波及効果が得られる。スタジアムができれば多摩都市モノレールの延伸計画や京王片倉駅からのアクセスルート整備も推進される。都心に近く、自然豊かな八王子市のロケーションを活用すべきで、八王子南バイパスの開通もアクセス向上に寄与する。多額のイニシャルコストは民間委託により将来的に回収可能と考える。</p>	<p>討に取り組む考えです。</p>
51	<p>中心地が寂れた感がある。大きな発想での企画を希望する。市民はもちろん、国内外からも人が集まり、人・物・金が流れ活性化につながるような施設を設けてほしい。Jリーグ誘致、オリンピック会場・練習場、大規模なイベント会場、東京ディズニーランドのような観光地等が考えられる。</p>	
52	<p>歴史・郷土ミュージアムを核とした交流の場では、広域集客は難しいと思う。「百年の彩りを次の100年の輝きへ」をキャッチフレーズとするなら、中核都市にふさわしい多機能複合施設として画期的なアーバンコンプレックスを目指すべき。郊外都市八王子の好立地を生かし、スポーツ競技場で多岐にわたって活動できる野外コンサート等、エスフォルタアリーナとは異なる、若いも若きも共創共生のランドマークとする。</p>	
53	<p>中間報告ではスポーツ施設の意見があったが、スポーツ施設ならば、スケートリンクを誘致してほしい。スケートには複数の競技があり施設が不足している需要はあると思う。また、競技</p>	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	として楽しむだけでなくショーとして芸術やエンターテインメント性もあり、多方面からの収益にもつながる。これといった目玉がない八王子に活性化をもたらすには今一番、可能性も将来性もあり、集客も即効性の効果を得られると思う。	
54	商業やスポーツ関連等の大型施設は、道路も狭く騒音や交通量など、近隣住民にとって大変な迷惑だと思うので反対。	大規模な商業施設やスポーツ施設は市が導入する施設として活用計画に位置づけておらず、本用地への導入は考えておりません。また、市が活用しない用地が生じる場合も、周辺地域のまちづくりに寄与する活用に向けた検討を行うこととしています。
55	商業施設を中心とした施設は周辺の環境になじまないのでは設置をしないで欲しい。	
56	グラウンドゴルフ専用コートを設置してほしい。グラウンドゴルフ愛好者は増加しており、高齢者向け屋外スポーツとして最も高齢者向きである。	スポーツ振興や市民利用のための運動施設の導入については、活用計画に位置づけておらず、本用地への導入は考えておりません。なお、「健康」は1つの重要なテーマになると考えておりますので、「まちの価値を創造するパブリックスペース」の説明に健康づくりの観点を追記しました。この点を踏まえ、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
57	新体育館の設置、富士森体育館リニューアルが実施されているが、人口に比べて体育施設が少なく、市民が満足する体育館の利用になっていない。大会を開く際も希望日の開催が難しい。市民の更なるスポーツ振興を図るためにも、多目的利用のスポーツ施設を建設して頂きたい。多摩地区は武道が盛んなので、多目的に利用できる武道館という形も検討頂きたい。	
58	防災の点からは、近くに六本杉公園があるので緑の公園ではなく、屋根のついた広いスペースや体育館を広くして避難所としての機能を向上させて欲しい。災害時には、御遺体安置所ともなる屋外施設も必要と考える。	
59	最近の子どもたちの体力低下が深刻だと思っており、子どもの体力増強に関する設備が少ないと感じている。今話題のアイススケートの一流選手を育てるべく、スケートリンク等の子どもの体力増強を目指した設備の充実を切に望む。高齢者はそれぞれ工夫して現在の設備等でやっていると思う。	
60	市営プールが陵南しかなく、昭島やあきる野まで行っている。屋外プールの管理の大変さも分かるが、最近の夏の暑さは大変である。	
61	PPS（特定規模電気事業者）による発電施設、又はオフィスビルの誘致。発電能力が良く、有望視される小型の燃料電池発電施設が国外で稼働	活用計画では環境の視点からの将来イメージも位置づけておりますので、環境配慮型の設備の導入や環境学習等も含め、ご意見も参考に、導

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	している。国内の事業者を探し出して、ぜひ誘致を。格安な電力を使い、電気自動車を自由に運転したい。	入施設の内容や運営等について、検討に取り組み考えです。
62	自然エネルギーや再生可能エネルギーも積極的に導入して更に魅力を発信して欲しい。	
63	八王子は自然が豊かな街なので、太陽光だけではなく、小水力、バイオエネルギーを活用した施設にして、全国にアピールできる建物にして欲しい。	
64	緑豊かな憩いの場所にすること、建物には自然エネルギーを最大限取り入れ、その点でも見学者を呼べるくらいのもにするとともに、自然エネルギー学習の拠点ともなるようにして欲しい。	
65	パブリックスペースへの地球温暖化防止活動推進センターの設置は、計画のコンセプトに合致しており、サードプレイスとしての機能を整備するうえで一つの核になる。	
66	八王子は高尾山や多摩川など多くの自然を今に伝える街であり、歴史・郷土だけでなく、環境も加え、次の100年につながる拠点を整備する必要があると思う。環境学習・研究や産官学の交流拠点を整備することで、八王子の自然・歴史・郷土の魅力をより多く市民に感じ、理解してもらえ。世界へも積極的に情報発信することで、世界中の人たちに八王子の魅力を知ってもらえと考える。	
67	小中高校生を含め、クリエイター・アーティストを育てる場にしてほしい。近い未来には、ロボットなどが単純作業をこなして、人はクリエイティブな仕事に就ける社会になるため、クリエイティブな発想を鍛えたり実現できる場が必要。小中高校生の底力は目を見張るものがあり、そのパワーをまちづくりに活用するための場ともするためのクリエイター教育の場が必要。今後は新しい発想が必要となるので、創造的な発想ができる人材を育てる場も必要。近未来には、そのパワーをまちづくりの中で活用できるようにするための場ともすべきである。造形大や多摩美大などの活用も視野に入れるべき。	学校教育施設等は市が導入する施設として活用計画に位置づけておらず、本用地への導入は考えておりませんが、学びの視点は将来イメージに位置づけており、本用地の活用における重要な考え方としています。市民や大学を含む地域資源・民間資源との連携が重要であると考えており、2(3)活用の主体に記載した民間主体を市民・企業・大学等と具体的に表記しました。
68	撤退する大学・企業・公共機関等で人口流失が始まっており、将来を見据えた新しい街づくり	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	に取り組む時期なので、ありきたりな施設ではなく、次の世代へ確実に受け継がれるものにするべきと考える。素案に加え、子供達の教育レベルの向上と建設棟の有効活用及び出来るだけ多くの市民がかかわりのもてる施設を建設することで、八王子市が文教に特化した新しい学園都市構築の足掛かりになればと考える。そこで、文教に特化した街づくりをめざし、幼稚園から高校生までを対象とし、ICTに特化した学校を建設してはどうか。	
69	「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」だけでは南口の活性化に大きく寄与する事にはならない。公園・ミュージアム・図書館という素案にプラスして駅前に大学を新規誘致し、中心市街地活性化に役立てて欲しい。他の自治体では中心市街地活性化のため、駅近くに大学誘致を行っている。	
70	小中学生が科学技術に興味関心を持つ場として、「八王子市立青少年科学交流センター」を整備する。日本の将来はイノベーションにある。また、先端技術・伝統工芸を問わず市内の産業を紹介し、製造現場を見て、官庁技術者から指導を得る。運営は、退職教員等にボランティアに近い形でお願いし、将来に向けて人材を育成して欲しい。	
71	市役所の場所は、市民やにぎわいとの関わりに対して不便で、今後増える高齢者に対して致命的である。将来を考え、八王子駅等から歩ける場所への移転検討が大切。その準備スペースとして、都市計画の中で未来を見据えた計画となることを期待する。	市役所・保健所等の公共施設は市が導入する施設として活用計画に位置づけておらず、本用地への導入は考えておりませんが、導入施設が幅広い市民の皆さまに利用していただける施設となることが必要と考えておりますので、ご意見も参考に、施設の内容や運営等のほか、アクセス等も含め、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
72	跡地に市役所を中心とした複合施設ができれば今より便利になり、また様々な活動の拠点にすることができる。また、現在の市役所はほかの目的の施設として活用できる。	
73	誰でも気軽に立ち寄れるという観点から、保健所、税務署、法務局の分室を移転・設置し、これらを利用した際に、良い場所が身近にあることを知ってもらい、市民活動が広がる拠点として欲しい。	
74	八王子市には市立病院がないので、大きくなくとも、小児科、産科、リハビリ科などの施設を	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	導入して欲しい。避難所として活用するなら少なくとも診療所機能は不可欠だと思う。	
75	高台の土地を利用して、観覧車などの設置が良いと思う。おそらく高尾山山頂からも見える八王子駅前の特徴になるし、観覧車からの市街の眺めは最高だと思う。	展望施設は活用計画に位置づけておりませんが、活用検討において、高台にあることのほか、駅徒歩圏であることや周辺住環境等の用地特性を踏まえることは重要と考えておりますので、ご意見も参考に、導入施設の内容やデザイン等について、検討に取り組む考えです。
76	土俵、スケートボード場、電波塔と展望場のあるタワー。	
77	公園内に市域を展望できる展望塔を設けて市民が過去・現在・未来を思索できる施設とする。また、すべての市民が参加・活用でき、将来的な施設充実も目指す等、この施設を中心に市の発展を進める。	
78	医療刑務所官舎は住宅地にあり、医療刑務所用地とは別に検討すべきである。国から取得費がかかる。また公園等で居住者がいないと防犯上問題となるし、子安町の発展を阻害するため、住宅地として民間に売却し、良好な住宅地になるよう地区協定等で規制すべき。医療刑務所跡地も民間に条件付き（公園整備、マンション内に郷土資料館を入れること）で大規模マンション用地として売却する。	居住機能は市が導入する施設として活用計画に位置づけておらず、本用地への導入は考えておりませんが、市が活用しない用地が生じる場合、当該用地は周辺地域のまちづくりに寄与する活用に向けた検討を行うこととしていますので、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
79	官舎は、市営・都営住宅としてリニューアルして再利用する。資源の再利用化をはかり、新築より安価で提供が可能となる。	
80	原爆資料館の設置を希望する。八王子には天皇の御陵がある点、首都圏に設置することで多くの者が訪れやすい点から、最適であると考え。財源については、世界中から基金が集まるであろう。	平和・原爆関連施設は市が導入する施設として活用計画に位置づけておらず、本用地への導入は考えておりませんが、本市での空襲等の歴史も踏まえ、ご意見も参考に、歴史と未来とつなぐ結節点となる「歴史・郷土ミュージアム」の内容や運営等について、検討に取り組む考えです。
81	八王子駅から近い本用地に「八王子市立の平和・原爆資料館」の設置を要望する。広島・長崎以外、国内に原爆の実相を伝える公的施設はなく、八王子は「非核平和宣言都市」であることから、歴史を伝え平和を志向できる施設を市が造ることは重要な意義を持つ。また、広島・長崎まで行けない人が八王子で学習できることや、市内の生徒や学生が「被爆」という事実学び、歴史の経過や国際平和について思考すること、貴重な遺品や資料等を未来への遺産とすることは、世界の人々へ平和を発信し、世界に貢献できることである。	

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
82	おしゃれで小ぢんまりしたカフェなども欲しい。	カフェ等の飲食機能は、施設コンセプトである居場所空間の実現に資すると期待し、利用イメージ例として活用計画にお示ししていますので、ご意見も参考に、導入施設への複合化も含め、具体的な施設内容や運営等について、検討に取り組む考えです。
83	用地内のしゃれたカフェなども楽しみ。大食堂は不要。	
84	防災拠点として整備してほしい。災害時の滞留者対策、避難所、防災倉庫、給水所、蓄電所、物資配送拠点としてほしい。平常時は、高齢者・乳幼児・障がい者が気兼ねなく使えるように個室とし、空いているときには人々が集える場として開放する。	活用計画では防災の視点からの将来イメージも位置づけており、「みんなの公園」は防災機能を備えることとしていますので、ご意見も参考に、平常時の利用も含め、具体的な施設・設備等について、検討に取り組む考えです。
85	市として駐車場を作らないで欲しい。八王子駅、京王片倉駅から徒歩圏内にあり、新たな集いの場だけでなく周辺地域が活性化され街のにぎわいが期待される、人の流れを作ることが大事と思う。また、南口周辺の細い路地が多い静かな住宅街に自動車が入れば、交通事故や騒音問題が心配である。高齢者、障害者の利用者については駅からのシャトルバスで対応して欲しい。	施設に必要な駐車場整備については、導入施設の特性や規模等の具体化に合わせて検討を進めるため、現在、決まっておりませんが、回遊性の向上や周辺住環境への配慮について、活用計画に位置づけておりますので、ご意見も参考に、駐車場を含めた本用地へのアクセスや回遊性について、検討に取り組む考えです。
86	違いを認め合える社会へ向かっていくために、八王子市に存在する豊かな自然と伝統を今後に繋いでいくために、すべての人が一緒になれるインクルーシブ（包摂的）な施設が必要。さまざまな人が集まるために、必ず確保してほしいものは、駐車場スペース、多機能トイレ、災害時の保護スペース・非常用電源・下水、湧水もしくは井戸の確保である。すべての施設コンセプトに通ずるコミュニティ空間となる、ソフト面を充実させたシェアオフィス・レンタルオフィス・コワーキングスペース・パブリックスペースを提案する。さまざまな人が憩い集まる施設内には食堂をつくり、地元食材の使用や、生活習慣病予防等のレシピの紹介コーナー等を設け、「感じる・味わう・学ぶ食育」の実験的発信地点にすることを提案する。障害者・難病罹患患者・学生・高齢者など、さまざまな人が住める住環境の施設上部への建設を提案する。情報医療と八王子の豊かな自然環境をつなぎ合わせた市民の健康や幸福を増幅させられる環境設備を導入すべきである。あらたな集いの拠点にふさわしい環境の整備のひとつとして、ハイパー	活用計画では、施設コンセプトの1つを「誰でも気軽に立ち寄れる居場所空間」としており、幅広い市民の皆さまに利用していただくことを目指しておりますので、ご意見も参考に、導入施設の内容・設備・運営等や導入施設に複合化させる機能の有無等について、導入施設の具体化に合わせて検討に取り組む考えです。

■導入施設

▼その他の施設について

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>ソニックエフェクトを発現させられるハイパーソニックサウンドによるサウンドスケープの施設への導入を提案する。病弱児・心身障害児の一時預かり施設もしくは障害児保育所の設置を提案する。保健師らによるインクルーシブ（包括的）な環境の調査・統計および市へのフィードバックなど、保健所の一部の業務を移設すべきである。パブリックスペースでは、伝統芸能・技術の展示・体験、楽器貸出、障害者等の展示のヘルプ、市内学取組展示、図書館の返却ボックス・予約本の受取を行って欲しい。導入施設に関連する専門家や有資格者の配属を希望する（栄養士・保育士・介護福祉士・看護師・保健師・保護士・社会福祉士・弁護士・特定社会保険労務士・医師など）。</p>	

■今後の進め方

▼検討課題

番号	意見の要旨	市の考え方
1	刑務所敷地を本格的な防災公園とする場合、郷土資料館、保育園等は官舎跡地が望ましい。	市の活用区域や活用区域内での施設配置については、土地の状況のほか、導入施設の内容や運営等も踏まえて検討していく事項と考えていますので、ご意見も参考に、計画の具体化に向けた検討に取り組む考えです。
2	宿舍用地は住宅地にあり、刑務所用地と宿舍用地は用途を分けて考えるのが妥当。	
3	用地全体を3つのゾーンに分け、それぞれで特色を持たせる形が良い。歴史を紡ぐ街づくり、未来への環境づくり、伝統文化施設、歴史・郷土ミュージアムづくり、学びの場を目指し、更に、地球温暖化対策へ貢献する未来への模範的生活圏を構築することを目指したゾーン。市民の交流の場づくり、老若男女・障害者の居場所づくり、防災機能・避難場所、市民の憩いの場、イベント・企画展施設・レクリエーション・運動施設のゾーン。八王子の地場産業・ブランド品を育成する場づくりとし、地産・地消の生活形態を目指したレストラン・喫茶室・多機能ホールのゾーン。	
4	建物は高低差に逆らわず計画し、傾斜地という地形を生かす。積極的に屋上緑地化し、環境問題に考慮。低層部に保育所とフリースペース、中層部に郷土資料館や地域交流館を配し、八王子の文化の発信基地とする。	
5	施設は用地の中心用地だけでなく、周辺の敷地周囲にも配分してほしい。地域活性化にもつながるのではないかな。	
6	今後の多摩都市モノレール新駅設置も考慮し、そのスペースと、待ち合わせができるカフェやレストランの配置を想定した設計計画とするべきである。	
7	市が活用しない用地が生じる場合、都市計画道八王子3・3・10号東京環状線の用地取得が始まろうとしており、長く医療刑務所の周辺に住んで来た者が立ち退きを迫られているため、これらの者への代替地確保を都(道路計画主体)、国(法務局)と調整してほしい。	
8	周辺民家の権利交換方式により周辺一帯を再開発することも含め、検討すべきである。	
9	今回の事業は、何十年に一度の大型事業となるため、毎年積立をして、さすが八王子と言われる、話題となって日本全国から見学に来る施設にして欲しい。	

■今後の進め方

▼留意点（アクセス、周辺住環境、施設設計等）

番号	意見の要旨	市の考え方
1	より多くの年齢層が利用できる状態としてほしい。そのため、アクセスは徒歩、自転車、バス、自家用車の優先順で考え、お年寄りから子どもまでが気軽に安全に行けるよう、駅から現地まで広範囲の整備も念頭に入れる必要がある。	本用地の活用におけるアクセスは重要であると考えており、留意点としています。特に、誰でも気軽に立ち寄れることを施設コンセプトの1つとしていますので、ご意見も参考に、留意点を踏まえた検討に取り組む考えです。
2	誰もが気軽に立ち寄る居場所空間の施設コンセプトから、高齢者や未就学児など車が無い人々も行きやすいように、公共交通機関（バスなど）の利便性を向上して欲しい。遠方からもアクセスしやすく、災害時にはヘリポートとして利用できる広い駐車場を要望する。	
3	利用料金を工夫し北口市営駐車場をメインとすることで、南口ににぎわいを与えられる人の流れを考えて欲しい。お年寄りや子ども連れ向けにシャトルバスの運行も。	
4	八王子駅北口地下駐車場や南口から無料または割引で乗れ、本用地周辺も回るシャトルバスの運行を、本用地だけでなく周囲も回るようにすれば、ついでに用事も足せるので、利用者以外も便利。	
5	南大沢や柚木地区からのアクセスをよくして新しいエネルギーを吸収するためにも、八王子駅南口発着のバス停留所を新しく設ける。	
6	気軽な来場手段として、駅南口から発車する複数のバス路線にこの施設を経由させることで、アクセス性を向上させる必要がある。また、歩車分離の観点から、八王子駅南口のペデストリアンデッキからとちの木通り方向に伸びるデッキ整備も検討して欲しい。	
7	多くの人に来訪してもらうためにはアクセスが重要である。モノレールが開通する場合には駅を設け、また、駐車場を充実させるべきである。	
8	多摩モノレールが八王子駅まで延長される際には、重要な地点になると思う。	
9	大きな課題はアクセスだと思う。16号の大幅改修による用地への車の出入りの円滑化と歩行者の安全確保が最優先と考えるが、用地から片倉城跡公園までの自転車道、遊歩道の整備もぜひ実現してほしいと思う。	
10	京王片倉駅付近の国道16号線の歩道は狭く、車いすも自転車もすれ違いができないので、歩道	

■今後の進め方

▼留意点（アクセス、周辺住環境、施設設計等）

番号	意見の要旨	市の考え方
	整備を希望。	
11	乳母車も安全にとちの木通りの東側に渡れる横断陸橋が欲しい。交通量の調査等を行い、周辺道路の整備を行ってほしい。	
12	東西を結ぶ横断橋には車椅子にも配慮し、エレベータを設ける。将来的には、八王子駅から京王片倉駅を歩道橋で結ぶ。	
13	とちの木通りの東西は橋でつなぐ。また、駅からの無料循環バスを走らせ、線路で分断されている南北をつなぎ、アクセスの良さをアピールする。駐車場には災害時のための備蓄倉庫を設置する。車利用者が多い街には必須である。	
14	駅から坂道を歩いて10分ほどかかり、車でのアクセスが多くなりそうだが、周辺は静かな住宅地なので、一時期に大勢が来る施設ではなく、常時ある程度の人が集まる施設が良いと考える。また、交通渋滞、騒音、事故が心配なので、駐車場について十分検討する必要がある。	土地利用の転換に伴い、少なからず周辺住環境への影響が生じることを想定し、良好な周辺住環境への配慮することを留意点としています。施設の内容や規模等の具体化に合わせ、ご意見も参考に、周辺住環境への配慮について、検討に取り組む考えです。
15	大規模公園を整備する場合、相応の駐車場がなければトラブルが発生するので、官舎跡地に相応の駐車場を整備すべき。	
16	送迎スペースや渋滞緩和のための駐車場を設け、各町会の防災倉庫を併設する。	
17	高層は景観や日影の問題もあるので低層とする。	
18	刑務所内にある樹木に起因する鳥害(ムクドリ)や犬の散歩コースによるふん尿など環境面では若干の問題もあり、今は安定している治安の面も含め、今後の施設等整備により、住環境の面での不安もある。	
19	おしゃれなライフスタイルを描けないと市民はサードプレイスとして使ってくれないと思うので、きちんとデザインされた居心地の良い空間・グラフィックが必要不可欠である。	導入施設のデザイン・設計については、将来イメージを意識したものとし、ニーズ変化等に対応できることが重要であると考えており、留意点としています。施設のデザイン・設計を行うまでに時間がありますので、ご意見も参考に、留意点を踏まえた検討に取り組む考えです。
20	先を読む力を付け、想像力をもって、デザインのプロと共に30年60年100年先を見据えた計画として欲しい。	
21	100年後、200年後にも市民が利用できるものにしてほしい。時代や流行に左右されるものではなく、永続的な市民の財産でなければならない。	
22	八王子の歴史と未来をつなぐ結節点の施設コン	

■今後の進め方

▼留意点（アクセス、周辺住環境、施設設計等）

番号	意見の要旨	市の考え方
	セプトから、「歴史・郷土ミュージアム」は、「織り物のまち八王子」という八王子の個性を壁面装飾などに盛り込んで表現して欲しい。	
23	全体計画のテーマを「花」にしてはどうか。花は人々を強く引き付けるが、八王子には花が少ない。また、医療刑務所で亡くなられた方々の魂を鎮めることになる。珍しい花を見たり購入したり、花を楽しむことのできる空間ができ、この場所が刺激になって町に花があふれていけば理想的。	
24	せっかくホッとする空間のイメージが壊れるので、高い建物は建てないで欲しい。	
25	市の施設には出入口が舞台側にあるホールや会議室があり、演者の前を通らなければ着席できない設計に驚かされる。施設ができて、そんな設計では、楽しさ・うれしさ・行きたさが半減する。設計段階で市民に公表して欲しい。	導入施設は市民が気軽に利用でき、居心地良い空間となることを目指しており、その実現に向けて、ご意見も参考に、施設設計の進め方についても、検討に取り組む考えです。
26	設計段階で、公開して欲しい。今までの施設はひどい設計ばかりだったので、設計を公募して、使い勝手が良く、出入りが便利で、緊急時も危険のない設計をする人をお願いして欲しい。高い建物は反対。障害者にも安全で優しい設備、将来にむけて充実してゆく樹木を取り入れたゆったりできる設計が良い。近所への配慮は大切。敷地ぎりぎりの使い方ではなく「日当たりがよくなった」「便利になった」と喜んでもらえるような設計をお願いしたい。	
27	施設の採算性を高めるため、入場料以外にも、体験料・飲食料・利用料等、多面的な収入を可能とし、持続可能な経営基盤を確保する。	施設の維持管理については、適正な公共負担のあり方や運営費確保の仕組み等の検討、魅力向上にむけたマネジメントの必要性を留意点としていきますので、ご意見も参考に、民間主体の事業参画についての調査・研究に取り組む考えです。

■その他

番号	意見の要旨	市の考え方
1	本用地を公園などにするのも結構だが、医療刑務所が果たして来た役割を考えると、簡単に公園にしてしまうのはいかがかと思う。医療刑務所は、病気となり、拘置所・刑務所等で管理できない被告を収容する所であり、何十人もの人が亡くなっているかも知れない。そこで、本用地にそのような施設があった事を残す記念碑・記念館・資料館などを作った残りの土地を公園にしてはどうか。犯罪抑止効果もあると思う。	本用地の活用において、医療刑務所が存在した歴史や既存施設・樹木をどのように取り扱うのかについては、近隣住民や施設管理者である国の考え方、施設の老朽化や樹木の老齢化の状況を考慮することが必要と考えていますので、ご意見も参考に、導入施設の内容や配置等について、検討に取り組む考えです。
2	医療刑務所があったことを何らかの形で残すべき。子安町に医療刑務所があった歴史的事実を後世に残すことは、現在に生きる者の義務であり、犯罪の防止や、長年、医療刑務所を受け入れた八王子市の懐の深さを発信できる。施設の保存は難しいと聞いており、高額な保存費用負担を後世に残すべきではないが、次世代の市民が将来の八王子を考えるきっかけとするためにも、庭の樹木だけでなく建築物も一部残すべき。	
3	郷土資料館を移転するなら、刑務所の存在も八王子の歴史の1つであるから、その施設を一部残すとともに、死亡した受刑者の慰霊碑も必要である。また、施設内にある桜やヒマラヤスギを残すべき。特に桜は素晴らしい木がある。	
4	歴史を正しく残すことは重要なので、刑務所があった史実を一角に残す。	
5	全部をリニューアルするのではなく、少しでもいいので南口近辺の歴史がわかるような内容にしてほしい。全部新しくして文脈がなくなるのはつまらない。医療刑務所自体も貴重な歴史遺産ではないかと思う。	
6	刑務所の歴史や木々を出来る限り保存してほしい。金にかえられない恵みを多くの人にもたらしている。長い目で、多くの人に住みたくなるまちになってほしい。	
7	本用地には大きな木もありそうなので、できるだけ活かして整備して欲しい。	
8	本用地には鑑賞上の価値が高い木々が生え、昆虫の生息場所にもなっており、また温暖化抑止の観点からも、現在生えている植物を保護してほしい。	
9	補修等でイメージを変え、既存建物を利用することで、お金を大切にしたい。	

■その他

番号	意見の要旨	市の考え方
10	他の施策に予算が必要となるなか、施設維持費を安くし、可能であれば既存建物の内装変更主体で造って欲しい。また、さらに財政が厳しくなるであろう将来における新しいニーズに対応できるように内装変更がしやすくしておく。	
11	今後の計画の具現化における早い段階で、とりわけ周辺住民にはきめ細やかな対応、丁寧な説明をお願いしたい。	今回のパブリックコメントにおいては、広報・ホームページのほか、素案説明会を開催したり、FacebookやTwitterでの情報発信に取り組みました。今後の具体的な市民参加の時期・方法等は現在未定ですが、ご意見も参考に、引き続き、適時適切な情報提供と参加機会を設けられるよう努めていく考えです。
12	地域住民・我々の声がどのように今後に反映されるのかを明らかにしてほしい。既成事実と上からの方針追行上の単なるアリバイ作りのようなものになることを危惧する。	
13	刑務所跡地の整備については情報を広く公開し、付近住民、全市民の要望をきめ細かく取り入れていただきたい。	
14	検討経過については広報等で報告してほしい。市街地でこのような大規模な用地が確保できる機会は減多にない。	
15	土地があるから箱モノを作るのではなく、予算も十分に考慮し、後世への負担をなるべく少なくするため、若い人の意見を聞く機会を作り、取り入れて欲しい。10～20年先を見て決定して頂きたい。	
16	パブリックコメントの求め方について、従来の広報などに加え、各町会長に通知などして欲しい。町会をもっと活用してほしい。	
17	平成29年から敷地外の仮校舎に移転予定の第三中学校には、十分な校庭や体育館等の施設が確保されておらず、新校舎完成までの数年間、医療刑務所のグラウンド・体育館をそのまま利用できるよう検討して欲しい。	いずみの森小中学校（第三中学校、第六小学校）の改築工事については、工事期間中の仮グラウンド、仮体育館についても適切に対応していく考えです。
18	国道16号・20号南バイパスの道路拡張を先行してやるべき。	国に対して早期整備を要望しています。今後も引き続き、機会のあるごとに要望していきます。